

## 『近江大原観音寺文書』の総合的研究

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 明治大学人文科学研究所 公開日: 2009-04-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福田, 榮次郎 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10291/4191">http://hdl.handle.net/10291/4191</a>

『近江  
大原 観音寺文書』の総合的研究

福 田 榮 次 郎

# 『近江大原 観音寺文書』の総合的研究

福田 榮次郎

本稿は『近江大原 観音寺文書』の総合的研究の中間報告である<sup>(1)</sup>。ここでとりあげる観音寺は、正確には伊富貴山観音護国寺といい、通称大原観音寺と称されている。現在の所在は滋賀県坂田郡山東町朝日1342である。かつては伊吹山中にあって、弥高・長尾・太平の三寺とともに伊吹山四大寺の一つであった。『寺伝』や『近江輿地誌略』等によれば宝亀年中(770~781)三朱沙門の建立とあるが、事実は9世紀のことで開祖は律師三修である<sup>(2)</sup>。その後13世紀の中頃(鎌倉時代中期)に現在の地に移り、23の坊舎を擁する荘嚴なる寺院となった。この地は9世紀から10世紀の史料には大原郷とみえており公領であったが、12世紀後半の史料には大原荘とあり、荘園となっていたことが知られる<sup>(3)</sup>。

また、観音寺が大原の地に移った頃、近江守護佐々木信綱の長子重綱は、大原荘地頭職に補任され、大原氏を称し、現在の山東町本市場の地に館をかまえたといわれている<sup>(4)</sup>。爾来中世を通じて大原氏の庇護をうけることとなった。戦国時代には佐々木氏の支族京極氏の被官からでて湖北を制した浅井氏、その後は長浜城主となった木下秀吉らによって寺領を安堵されている。江戸時代には諸役を免除され、この地域の有力な寺院として存在した<sup>(5)</sup>。さらにまた、江戸時代には観音寺の寺院名が、そのまま行政上の村名にもなっていた。

このような歴史をもつ本寺は、すぐれた宝物や什物を蔵している。木造伝教大師坐像は国の重要文化財に指定されており、観音寺本堂は県の文化財となっている。本稿でとりあげる観音寺文書も県の文化財に指定されているものである<sup>(6)</sup>。

## 註

- (1) 本稿では滋賀県坂田郡山東町の伊富貴山観音護国寺の文書を『近江大原 観音寺文書』とよぶことにする。東京大学史料編纂所の影写本では本寺の文書を『近江大原 観音寺文書』としている。すでに半世紀以上も使用されている名称であるから、これに準拠することにした。なお、中世文書はこのように国名ならびに地名を附してよぶことはしばしば行われている。
- (2) 『近江国坂田郡志』第1巻参照。なお、律師三修については、『大日本史料』第1編之2 昌泰2年5月12日の条参照。
- (3) 拙稿「近江国坂田郡大原荘の伝領関係をめぐって」(『日本中世の諸様相』所収 1989年 吉川弘文館刊)。
- (4) 『ふるさと山東の文化財』(山東町教育委員会編)
- (5) 『近江国坂田郡志』第2巻
- (6) 『ふるさと山東の文化財』(山東町教育委員会編)

大原観音寺の文書は、古くは慶安4年(1651)に整理が行われており、近代にいたっては大正2年(1913)に調査が実施されている<sup>(1)</sup>。大正2年は『近江国坂田郡志』(全3冊)が編纂・刊行されたときである。昭和に入ると、5年(1930)に東京大学史料編纂所が採訪しており、38点の文書を影写している<sup>(2)</sup>。つづいて昭和13年(1938)には、江北のすぐれた郷土史家中川泉三氏による調査・整理が行われている。大原観音寺文書の本格的な調査の嚆矢ともいえる仕事である。このとき中世文書の主要なものは12冊の帖装に製本され、2箇の木函におさめられた<sup>(3)</sup>。昭和17年から20年までに刊行された『改訂近江国坂田郡志』(全8冊)は、この昭和13年の中川氏の調査・整理の成果を吸収し、第7巻(史料編)には観音寺文書340通、第8巻(史料編)には観音寺文書7通を収録し、通史編では観音寺文書を駆使して、いくつかの新しい史実を記述している<sup>(4)</sup>。

第2次大戦後、史料編纂所では昭和33年から38年にかけて奥野高廣氏を首班として滋賀県全域にわたる史料採訪を行っているが、大原の観音寺には昭和36年(1961)に訪れており、文書約450点、古記録15冊を写真におさめている<sup>(5)</sup>。なお、この一連の滋賀県の史料採訪については、奥野氏の「滋賀県下の史料採訪」がある<sup>(6)</sup>。つづいて昭和50年(1975)には滋賀県文化財専門委員である中村林一氏の執筆にかかる『大原観音寺文書』が上梓され、大原観音寺文書の全貌が明らかとなった<sup>(7)</sup>。そして昭和53年3月、滋賀県から文化財の指定を受けている<sup>(8)</sup>。

その後は昭和61年に『山東町史』史料編が刊行され、郡志や中村林一氏の仕事を継承発展させている。昭和57年(1982)福田は明治大学文学部日本史専攻の院生・学生諸君とともに、史料見学のため大原観音寺を訪れた。そしてまだ手をつけていない近世文書の整理を依頼され、翌58年以降、毎年8月に参上して仕事にあたってきた。未整理の近世文書は書冊文書、一紙文書あわせて2000点と推定して調査に入ったが、作業は書冊の部の目録を完了するところまで進捗した<sup>(9)</sup>。そこで中間報告として中世文書と近世文書の書冊文書をあわせて、編年の文書目録を作成し発表することとした。

なお、『近世観音寺文書』の調査・研究には、伊富貴山観音護国寺住持林昭仁先生ならびに御家族の皆様には何かと御高配をいただいた。ここにその旨を記して、心から御礼を申し上げる。

#### 註

(1) 『ふるさと山東の文化財』(山東町教育委員会編)

(2) 『近江観音寺文書』(影写本)(3071.6/32)

(3) その函書は、次の如くである。

「鎌倉時代より足利末期に至る文献約五百通を存したる伊吹山観音護国寺の発見は、稀有之慶事にして、国家的地方的之福音なり、今于茲昭和十三年十月修理なり、函に納めらるゝに当り由来を記して仏護感謝之意を表す、本函納むる所四百二十余通也、

伊吹山人中川泉三 合掌恭題

尚、12冊の表装と同じ布を用いた卷子仕立のものが1巻ある。『大原観音寺文書』(滋賀県教育委員会編)では、「卷子装の部」の7巻としているものがそれである。

(4) 中川泉三氏は『改訂近江国坂田郡志』の編纂顧問であったが、昭和14年極月病のため逝去された。郡志

は中村林一氏、沢直一氏、桶口元氏等によって完成した。

- (5) このとき、奥野氏に同行し、福田も観音寺に参上した。尚、福田は翌37年にも補足採訪している。
- (6) 『日本史籍論集』上巻所収（昭和44年 吉川弘文館刊）
- (7) 『大原観音寺文書』（「滋賀県古文書等緊急調査報告書 二」 滋賀県教育委員会編 昭和50年刊）ここには古文書 576点・板札 4点・古記録45点、計 625 点の文書目録、古文書 576 点と板札 2 点の釈文、48点の花押・印判集がおさめられている。
- (8) 指定された文書は、『大原観音寺文書』の目録にみられる 625 点である。
- (9) 文書は 1 点 1 点を所定の紙袋におさめ、年月日、文書名、差出、宛所、内容等を紙袋に記して整理した。

### 三

大原観音寺の中世文書が『近江国坂田郡志』にのせられてから、既に半世紀近くの歳月を経ているし、『大原観音寺文書』が上梓されてからも 10 年を経過している。この文書による研究成果も幾つか数えられるようになっているので、次にそれらの成果と課題について考えてみることにしたい。

言うまでもないことであるが、この文書は在地の寺院の史料である。それとともに、信仰の山である伊吹山の史料でもある。まず研究の一つはそうした面ですすめられてきた。昭和46年佐々木孝正氏の「湖北観音寺と庶民仏教」なる論稿がある<sup>(4)</sup>。この観音寺文書を20点ばかり引用して、①観音寺によせられた中世村落民の信仰内容、②その信仰の管理組織、③これに関係していた宗教者の問題等々について考察し、中世における地方的霊場寺院の代表例として紹介している。

つぎには、五米重氏編『近畿霊山と修験道』（『山岳宗教史研究叢書』11）がある<sup>(5)</sup>。これには「近畿地方霊山一覧」なるものをのせているが、伊吹山の一項があり、山名伊吹山、修験伊吹大菩薩、寺院は観音寺・太平寺・弥高寺・長尾寺、神社は伊吹神社、備考には安祥上人（観音寺）、七高山の一つとある。また、近畿地方の霊山の「史料目録」には、大原観音寺の文書32点を掲げている。さらにこの書のなかには、満田良順氏の「伊吹山の修験道」なる論稿がおさめられている。大原観音寺文書が50点ほど引用され、伊吹山の修験道について多方面から考察するとともに、大原観音寺の組織構成についても論述している。満田氏も述べているように、観音寺の文書は土地の売券・寄進状等が圧倒的に多く、修験道の実態に直接迫り得るような史料は非常に少いのであるが、寺の規式や置文や諸記録、さらには売券や寄進状にみられる文言を有効に駆使しての業績である。近時新しい視角と方法による寺院史の研究が盛んになっており、とくに地域史・民衆史・社会生活史とのかかわりで、地方寺院の研究が注目されている。伊吹山の山麓にあって豊富な史料を蔵する当観音寺は、興味深い研究対象となるのではないかと思われる<sup>(6)</sup>。

滋賀県下を史料採訪した奥野氏の報告にも大原観音寺文書について述べるところがある<sup>(7)</sup>。まず、大原荘が仁和寺領であったことを指摘し、嘉暦2年正月中宮藤原禧子令旨<sup>(8)</sup>や元弘3年6月観音寺集徒等申状等によって観音寺が南朝方であり、南朝方に味方したのは山隊が与って力があつたと論じられる。また、応永26年『観音寺本堂造作日記』のなかにみえる「石田東殿」を石田氏の初見史

料とし、売券・寄進状のなかには大原本斗・金巻斗・観音寺升・福能部庄升などの量制の史料が豊富にあると述べている。

大原観音寺の文書に多量の売券・寄進状があることは前述の如くであるが、売券・寄進状には本年貢をはじめ加地子得分・万雑公事・反銭等の収取物の記載があり、中世の収取関係を究明するには貴重な史料となる。この方面では勝俣鎮夫氏のすぐれた研究があるが、そこにはこの観音寺文書も有効に使われている。まず、「六角式目における所務立法の考察」では10点ほどの売券・寄進状・算用状が引用されている<sup>(6)</sup>。さらに「地発と徳政一揆」では<sup>(7)</sup>、(1)文和3年12月13日道教燈油田寄進状、(2)応永13年11月30日進士如法経田寄進状をとりあげている。(1)では道教は故浄仏の寄進の旨にまかせて寄進すると記しているところから、こうした寄進行為の前提には「子孫の本主権にもとづく取戻行為が「代替り」ごとに存在していた」と、中世の“もどり現象”を論じている。(2)においては、寄進状の形式をとりながら「但乍寄進申、堪料陸百文致其沙汰」とあり、不安定な寄進地を寺領として安定化させるために、観音寺は寄進者進士に600文を支払っている。寄進と買得のつみかさねで所有の移転を強固なものにする“売寄進”であると述べている。これまでは“売寄進”とは徳政を忌避するためのものと理解されてきたが、“もどり現象”の一つとして新しいとらえ方をしていく。

こうした勝俣氏の研究と同じように売券・寄進状を引用した論稿に、野沢隆一氏の「戦国期の買地安堵」がある<sup>(8)</sup>。江北地域の350点に近い売券・寄進状の分析により、買地安堵によって買得地が給地化し、「加地子」が知行制度に取込まれていく過程を論述している。このような大原観音寺文書の売券・寄進状による在地の動きについての研究は、ようやく花開いたところであり、今後ますます多様な研究が行われることになるであろう。さらにまだあまり利用されていない興味深い記録や帳簿類が多量にあるわけで、これからこうした方面での研究を大いに期待致したい。更には同じように売券・寄進状を多く蔵する美濃の龍徳寺や若狭の西福寺や明通寺等の諸寺と、比較検討しながら研究をすすめていくのもよいのではないかと思うのである。

次にこの地は古くは大原郷であり、やがて荘園となって大原荘を称するが、大原観音寺の文書は、この大原荘の史料でもある。大原荘の伝領関係については、拙稿「近江国坂田郡大原荘の伝領関係をめぐって」があるが<sup>(9)</sup>、複雑な伝領関係を示し、まだ明らかでないところもあり、この点の研究も今後俟たれるところである。また、政治史的な考察としては森岡栄一氏の「横山城時代の秀吉」がある<sup>(10)</sup>。元亀・天正の頃の江北の政治情勢を描いているが、大原観音寺には木下藤吉郎時代の秀吉判物がある。こうした意味では江北の雄浅井氏の文書もあり、佐々木一族の大原氏の文書もある。これらの文書を駆使して南北朝の動乱期あるいは戦国から織田豊臣の時代の江北の政治史的な動きをみていくことも大事な仕事になるかと思われる。

近江の地において、中世の社会がどのようにして近世社会へ移っていったかということは大へん興味のあるところである。さいわいこの観音寺には中世文書数百点、近世文書は2000点近くもあるのではないかと思われる。しかも近世は初頭の頃からかなりの密度で文書が残っている。関東などではなかなかみられないことである。天正検地の史料は散逸したようであるが、慶長7年の検地帳

は現存している。中世末期から近世初頭の史料が、高い密度で存在していることが、『近江 観音寺文書』の魅力の一つである。この点を十分に活用した新しい研究が、つぎつぎと生まれることを切に希望したい。

#### 註

- (1) 佐々木孝正氏「湖北観音寺と庶民仏教」(『印度学仏教学研究』19巻2号 昭和46年)
- (2) 五来重氏編『近畿霊山と修験道』(『山岳宗教史研究叢書』11 昭和53年 名著出版刊)
- (3) 近時の業績としては、中世寺院史研究会編『中世寺院史の研究』(上下2冊 昭和63年 法蔵館刊)がある。尚、中世寺院史研究会(代表黒田俊雄氏)の人々は、昭和61年8月、当観音寺の史料採訪を行っている。
- (4) 奥野高廣氏「滋賀県下の史料採訪」(『日本史籍論集』上所収 昭和44年 吉川弘文館刊)
- (5) 中宮藤原禰子の懐妊については、百瀬今朝雄氏の金澤文庫所蔵金澤貞顯書状を考証する「元徳元年の「中宮御懐妊」」(『金澤文庫研究』274号 昭和60年3月)がある。
- (6) 勝俣鎮夫氏「六角式目における所務立法の考察」(『岐阜大学教育学部研究報告・人文科学』17, 1968年刊)
- (7) 勝俣鎮夫氏「地発と徳政一揆」(『戦国法成立史論』所収 1979年 東大出版会刊)
- (8) 野澤隆一氏「戦国期の買地安堵」(『国史学』134号 昭和63年)
- (9) 福田榮次郎「近江国坂田郡大原荘の伝領関係をめぐって」(『日本中世の諸様相』所収 1989年 吉川弘文館刊)
- (10) 森岡榮一氏「横山城時代の秀吉」(『近江の城』30号 1988年)

#### 四

ここでは慶長7年(1602)小堀新介の実施した総検地以後の文書を「近世文書」として取扱うことにする。この時代区分は文書整理における全くの便宜上のことである。また、現観音寺所蔵の近世文書については、あらかじめ次の点に留意していただきたい。

上記慶長7年検地帳は「江州坂田郡観音寺村検地」といい、近世の行政村落としての観音寺村の存在がまずここに確認される<sup>(1)</sup>。観音寺という寺院名が行政上の村名になったことは明らかである。検地当時の村高は不明であるが、正保郷帳(明治大学刑事博物館資料第5集)によると82石1斗で、これが幕末まで継続する。観音寺村の行政は観音寺の塔頭が庄屋・横目を年番で歴任して行う。その村方文書が観音寺文書である。観音寺所蔵近世文書=村方文書となるのであるが、しかしその文書は通常の村方文書とは性格を異にし、いわば観音寺領文書というにふさわしい。観音寺所蔵の近世文書はこうした複雑な側面を持っており、この点を念頭に目録をみて頂きたい。なお、当村ははじめ徳川氏直轄地、慶長9年から彦根藩(井伊氏)の所領となり幕末に至っている。

観音寺所蔵近世文書のうち、整理が終り目録作成が完了したのは書冊文書のみで、一紙文書はなお整理中である。書冊文書は総数533点・789冊である。この整理に当たり、全文書をその残り方により、触書・土地・年貢・家並・宗門人別・寺・村その他、の7項目とし、項目別編年代にまとめた。その概要は次の如くである。

(1)触書 ここへは寛保2年を上限とする幕府・彦根藩と本寺からの触書類38点を収めた。触書の

上限である寛保2年「彦根皆米札触書写」は藩領全体にあてたものであるが、こうした触書が後期には「公儀并彦根・東谷并本山御触書写帳」という名称でまとめられている。

(2)土地 既述した慶長7年総検地の「江州坂田郡観音寺村御検地帳」以下83点である。近世前期文書も散見し、中世から近世への移行、観音寺領・観音寺村等をみる中心文書である。

(3)年貢 元和9年11月、彦根藩への年貢納帳を上限として75点で、近世前期年貢負担の様相の検討も可能である。

(4)宗門人別 通常いう宗門人別帳で、宝暦12年から85点を収めた。宗門帳の本文自体には別に特記することはないが、その前書は幕領のそれと異なり留意したい(後述)。

(5)家並 彦根藩の場合、前記宗門帳とは別に夫役賦課のため家並帳を作成している、当村には宝暦10年以降47点現存するが、宗門帳と違って家並はその性格からして慶応年間で終わっている。

(6)寺 この分類は漠然としているが、これは寺院としての観音寺と塔頭に関する文書を収めた。寛永18年「彦根町中鐘鑄勸進帳」以下128点で、寺院経済・経営・行事等々の文書である。

(7)村その他 既述した(1)~(6)に至る分類を進めた結果、この6項に該当しない文書が出たが、そのまとめがこの項目である。明治6年戸長「退役御願書」が上限であるが、結果的にみると近代の行政村としての観音寺村の村政・村入用関係が中心となっている。近世の観音寺村の寺領的性格の払拭は、ここで作成された文書からともいえる。項目名はこうしたところからきめた。

以上が書冊文書の分類の概要である。この分類は、我々が長年使用してきた明治大学日本史研究室近世文書分類項目とは全く趣を異にする。当寺文書の分類は、文書の内容と残り方を重視し、文書のもつ歴史性を基にして独自の分類を行った。通常分類をもって整理できない文書の性格、これが当寺文書の特徴といえる。これまで数度いった寺領的性格、これが根底にあり、一般の村落と異なった文書が作成され、それ故に通常分類がなしえなかったともいえよう。

前述のように、本書に載録した書冊文書は533点・798冊で、その編年目録が後掲のそれである。近世文書の場合、目録作成がまだ中途のため、文書全体の概要もまだ不明であり、まして内容についての検討は全く行っていない。従ってここで文書の内容紹介をすることは出来ないが、整理の過程で気づいた2、3の点について報告しておきたい。

(1) 前に文書整理の都合からして近世を慶長7年総検地からとしたが、幸いこの検地帳についてはそうそうの間に大まかな分析をする機会をえた。その概要結果は次の如くである。

(A) 全名請人は42名で、これは大別して①坊名名請人30名と、②俗名名請人12名とに分けられる。坊名名請人とはたとえば塔頭の浄泉坊の如く、また俗名名請人とはたとえば彦三郎のように通常の農民名をいう。この様相はかつて筆者が分析した下総国香取社領とごく類似している<sup>(2)</sup>。

(B) 耕地の大部分は、右の坊名名請人のうち名請高上位24坊によって占られている。

(C) 屋敷地24筆は右の24坊の名請で、俗名名請人による屋敷地の名請は皆無である。

(D) 以上のことからして、観音寺村の農民構成は通常の村落構成からみて全くの異例といえる。既述した寺領的とはこのことである。

概要は上のようであるが、この有様は寺領そのものである。この点からみると、検地帳で把握さ

れた行政村落としての観音寺村は、中世から続く寺領のうち、観音寺門前の田畑を中心とする地域が村として確定されたのであろう。

(2) 寺領的で、村らしからぬ村、これが観音寺村である。たとえば近世中期の例であるが、天明4年宗門帳によると家数30軒・人数26人とあり、この数は幕末まで大差はない。この内訳をみると家数30軒は、寺14軒・門前5軒・惣倉1軒・物置8軒・小屋4軒と門前小屋1軒からなっている。通常の村との違いは改めていうまでもなかろう。ここにある門前5軒が前記俗名名請人の一部になろう。上の構成は村全体であるが、時には寺中・寺家中とも称され、近世前期においてはかなり強い統制が行われている。たとえば寛永19年には次のような寺家中下人法度が定められている<sup>49</sup>。

#### 定法度之事

一、寺家中下人共、日暮候て他坊へ私ニありき申事、堅法度之事、若不此用所候者、其主坊を横目  
 之方へ理可出事

一、下人共寄合、仮初ニもかくしゆつ仕ル事、堅法度之事

一、門前へ主坊を用途之外、下人共節々立寄申事可為法度事、若左様之儀有之候ハハ、過錢貳百宛可  
 出候、宿之儀忽論、寺内払可申事

右之趣於背申者、其主坊寺中衆刈致させ間敷候、仍如件

寛永十九年三月

ところで、分類の説明のとき宗門帳の前書について留意したいといったが、この点について一言しておきたい。通常宗門帳の前書は、その性格からしてキリシタン禁制を中心とした文言からなっている。彦根藩領に属する当村宗門帳をみると、全三条のうち、第一条はキリシタン禁制であるが、第二条の条文に次のような文言がある。

一、関ヶ原御陣・大坂御陣之刻、敵方一手之大将分并其砌之物頭・出頭人之子孫男女共、老人も無  
 御座候事

観音寺は石田三成が出世の糸口をつかんだ寺院であり、三成出身の石田村にごく近接している。右の宗門帳は彦根藩領全体の文言ではあるが、それにしても観音寺所蔵文書であるだけにこの文言は実感がある。

(3) 観音寺村の特徴の一つとして、村役人制度がある。彦根藩の村役人の職名は庄屋・横目であるが、観音寺村は塔頭が年番で勤番する、たとえば寛政2年庄屋修善院・横目成就院、寛政3年庄屋宗泉坊・横目修善院、寛政4年庄屋宝聚院・横目宗泉坊、また文化元年庄屋竜成院・横目福寿院、文化2年庄屋浄光院・横目竜成院等々である。庄屋・横目は総称して役者と言われ、右のように各塔頭が交代で就任し、庄屋が翌年に横目への順がみられる。

これに観音寺の諸行事を統轄する年行司がある。これも塔頭が交代で勤めるが、年行司は原則として村政に関与しない。観音寺村(行政)＝庄屋・横目、観音寺(宗教)＝年行司と、行政村落観音寺村は2つの大きな体系が存在し、これが近世を通して継続する。

以上、観音寺所蔵近世文書、ならびに観音寺村の性格のごく一端についてふれた。何分にもまだ文書整理の過程であり、この段階でことを論ずるのは早計である。以上のことは文書整理過程の断

片的な感想であることをお断わりしておきたい。なお、書冊文書のうち、分類終了後の新出書冊文書は目録作成が遅くれ、今回の編年目録には収録しなかった。

#### 註

- (1) 『大原観音寺文書』(滋賀県教育委員会編)の「記録簿冊類目録」では、17・18・19が慶長7年の検地帳である。これ以外に近世文書群のなかから出て来たものが一冊ある。
- (2) 神崎彰利「近世初期香取社領の構造」(木村礎氏・高島緑雄氏編『耕地と集落の歴史』所収 昭和50年刊)
- (3) この「寺家中下人法度」は一紙文書の部にふくまれるので、今回の編年目録にはおさめられていない。

#### 五

『<sup>近世</sup>大原 観音寺文書』の総合的研究の中間報告として、中世文書と調査・整理の完了した近世の書冊文書をあわせて「編年文書目録」を作成したが、以下このことについて一言する。

- (1) 「編年文書目録」には年月日、文書名、種類、番号、備考等を記した。この目録は中間報告であり、近世の一紙文書の調査・整理の完了後は、追加・補正されることがあるので、通し番号は附さないことにした。
- (2) 古文書の整理は伝来別(架蔵別)分類か、あるいは内容からいくつかの項目にわけられる方法がとられる。中世文書は前者が多く、近世の文書は後者が一般的のようである。今回の観音寺文書の整理も、中世と近世では異なった方式で行っている。
- (3) 「編年文書目録」には整理・分類の番号を附した。古文書は整理・分類するとともに、これを総合するために編年順に配列するということが行われるが、これに整理・分類の番号を附しておくことで検索・考察するに有効と思われるからである。
- (4) 中世の部では、中川泉三氏・中村林一氏による分類があるので、これに準拠することにした。「編年文書目録」の「種類」の項に「帖」とあるのは、中川氏による「帖装」(12冊)のことで、「巻」とあるのは卷子仕立のことである。「その他」は中村氏による分類、「仮末」とあるのは今回の調査で新たに出たものである。「番号」の96, 4-1とあるのは『大原観音寺文書』(滋賀県教育委員会編)の番号で、96は通し番号、4-1は冊(巻)数とその葉数である。また、文書名は先学(中川・中村両氏)の業績は尊重したが、訂正・改名するところもある。
- (5) 近世の部では、分類は文書の残り方から考案し、①解書、②土地、③年貢、④家並、⑤宗門人別、⑥寺、⑦村その他の7項目とした。「編年文書目録」にある「番号」は、その分類と番号を示し、「種類」の「横」は横帳、「冊」は普通の書冊を意味している。
- (6) 文書の年月日で年次・年代の推定によるものは( )で示した。年次未詳の文書で鎌倉時代・南北朝時代と概ね推定されるものは、その時代の末尾に、日付の月日順に配列した。この時代区分は『大日本史料』に拠った。室町・戦国時代のものは元亀年間の次に配列した。また、断簡・封紙等の全く年月日のないもので、中世と思われるものは慶長7年のところにおさめた。次に近世・近代のもので全く年月日のないものは巻末に配列した。閏月は○にその月の数字を入れた。

◎は閏10月である。

(附記) 『近江・大原 観音寺文書』の調査・研究には、福田榮次郎ならびに明治大学刑事博物館の神崎彰利氏をはじめとして、明治大学 文学部 日本史専攻 卒業生 高橋孝行・外山至生・三舟(小川)薫・湯浅治久・晴田(古後)いずみ・須永一弘・原和之・斎藤慎一・中山文人・武者詩久美・辻良啓・釈迦堂光浩の諸君が参加した。なお、本稿の四は神崎氏の執筆にかかるものである。

### 『近江・大原 観音寺文書』編年文書目録 (中世文書・近世書冊文書)

年月日	文書名	種類	番号	備考
永安 4.10.13	官宣旨案	帖	96,4-1	承安四年の誤りか
延応 2. 2.23	泰西畠所当米寄進状	帖	1,1-1	
正元 2. 3.--	准三宮序下文案	帖	137,5-20(2)	
正元 2. 5.--	公文代来仏福宝寺馬上免田畠寄進状案	帖	137,5-20(3)	
弘長 1. 1.20	田賀定影田地避渡状	帖	2,1-2	弘長改元は2月24日
弘長 3. 4.--	預所宗秀所当米等寄進状	帖	6,1-6	
文永 2. 1.--	預所某奉書	帖	7,1-7	
文永 2. 1.--	預所某奉書案	帖	138,5-21(1)	7の案文
文永 2. 2.17	仁和寺御室 <small>法助</small> 御教書	帖	8,1-8	
文永 2. 2.17	仁和寺御室 <small>法助</small> 御教書案	帖	138,5-21(2)	8の案文
文永 7. 3.23	梵鐘銘写	帖	135,5-18(1)	
建治 1.10. 9	正信田地売券	帖	9,1-9	
弘安 3.12.--	円智如法経田寄進状	帖	3,1-3	
弘安 6. 1.晦	惟宗頼忠田畠売券案	帖	4,1-4	
弘安 8.12.15	某田畠寄進状案	帖	136,5-19(3)	22の寄進状に同じ
弘安 8.12.15	某田畠寄進状案	その他	472,-1(2)	22の寄進状に同じ
弘安 8.12.15	某田畠寄進状案	帖	22,2-1(1)	136-(3)・472に同じ
弘安 8.12.15	某澄油田畠寄進状案	帖	135,5-18(2)	
弘安 9. 5.21	依願田地譲状案	帖	5,1-5	
正応 1.11.--	源氏某田地寄進状	帖	10,1-10	
正応 6. 7.--	源氏某田地寄進状	帖	11,1-11	
正応 6. 7.--	源氏某田地寄進状案	帖	12,1-12	下部欠・11の案文
正応 6. 7.--	源氏某田地寄進状案	帖	136,5-19(1)	11の案文
永仁 3. 3. 1	慈念・頼忠連署田地寄進状案	帖	136,5-19(2)	
永仁 3. 8.10	慈仏馬上免寄進状	帖	23,2-2	
永仁 3. 8.23	刑部左衛門文書注文	帖	15,1-15	

年月日	文書名	種類	番号	備考
永仁 3. 8. 23	某証状案	帖	22, 2-1(2)	
永仁 3. 8. 23	某証状案	帖	136, 5-19(4)	22の証状案に同じ
永仁 3. 8. 23	某証状案	その他	472-, (2)	22の証状案に同じ
永仁 4. 2. 16	比丘尼妙阿弥陀仏如法経田寄進状	帖	24, 2-3	
永仁 5. ⑩. 28	預所すけのふ為貞名田寄進状	帖	25, 2-4	
永仁 7. 1. 12	源貞重免田寄進状	帖	16, 1-16	
永仁 9. 1. 12	源貞重免田寄進状案	帖	136, 5-19(5)	
正安 1. 2. 17	覚日修理田寄進状	帖	13, 1-13	
正安 3. 12. 一	覚蒼田地弁進状	帖	26, 2-5	
乾元 2. 5. 8	衆徒中連署注進状案	帖	139, 5-22	
嘉元 2. 2. 一	案主高階・預所法橋連署奉書	帖	14, 1-14	
徳治 3. 4. 10	伊富貴山弥高・太平両寺衆徒等和与状	卷	432, 1-1	473・581に同じ
徳治 3. 4. 10	伊吹山弥高・太平両寺衆徒等和与状案	その他	473, -2	432・581に同じ
徳治 3. 4. 10	伊吹山弥高・太平両寺衆徒等和与状案	仮未	581, -1	432・473に同じ
延慶 2. 3. 7	小足範忠田地避渡状	帖	18, 1-18	
延慶 2. 3. 20	定祐如法経田寄進状	帖	27, 2-6	
延慶 4. 4. 2	定達忌日田寄進状	帖	19, 1-19	
元亨 1. 11. 8	道性田地出進状	帖	28, 2-7	
元亨 1. 12. 19	藤原生子女田地売券	帖	20, 1-20	
元亨 2. 1. 28	観音寺食堂座席次第	帖	120, 5-3	
元亨 2. 1. 28	観音寺食堂座席次第	帖	121, 5-4	120に比べ省略
正中 2. 2. 19	観音寺衆徒等申状案	帖	106, 4-11	
正中 2. 4. 12	塔本尊成立注文案	帖	107, 4-12	
(正中) 一. 一	観音寺寺領注文(断簡)	帖	223, 8-1	
嘉暦 1. 12. 一	公文・下司・正検使連署山室保実検請坪状(切紙)	帖	17, 1-17	
嘉暦 2. 1. 22	中宮藤原禮子令旨	卷	433, 1-2	
嘉暦 2. 1. 22	中宮藤原禮子令旨写	仮未	587, -7	433の写
嘉暦 2. 2. 5	観音寺衆徒等請文案	卷	434, 1-3	
嘉暦 2. 2. 5	観音寺衆徒等請文案	仮未	608, -28	434に同じ
嘉暦 4. 8. 11	衆儀定書(断簡)	仮未	582, -2	
元弘 3. 6. 一	観音寺衆徒等申状	卷	435, 1-4	
元弘 3. 8. 4	良永書状案	帖	145, 5-28	
(鎌倉) 一. 一	寺僧勸進次第注進状案	帖	140, 5-23	
(鎌倉) 一. 一	連署状案(断簡)	帖	137, 5-20(1)	
延元 2. 2. 9	兵庫頭政長奉書	卷	464, 5-1	
延元 2. 2. 9	兵庫頭政長奉書写	仮未	583, -3	464の写
延元 2. 2. 9	兵庫頭政長奉書写	仮未	630, -50	464の写
延元 2. 2. 9	兵庫頭政長奉書写并包紙	仮未	609, -29	464の写
暦応 4. 12. 一	公文・下司・正検使連署山室保実検請坪状(切紙)	帖	29, 2-8	
康永 3. 2. 一	蓮覚田地売券	帖	30, 2-9	
康永 3. 7. 2	聖尊名田得分米支配置文案	帖	142, 5-25	
康永 4. 3. 3	源氏重澄油田寄進状案	帖	31, 2-10	

年月日	文書名	種類	番号	備考
貞和 3. 8. 18	如法経聖堂籠規式案	帖	141, 5-24	
貞和 4. 4. 7	源清護摩田去状	帖	32, 2-11	
貞和 4. 12. 15	藤原氏女田地売券	仮未	584, -4	
貞和 5. 12. 8	観音寺規式置文案	その他	474, -3	
観応 1. 9. 24	西念・左近允連署燈油料田寄進状	帖	33, 2-12	
文和 2. 5. 3	夫馬郷名主・百姓連署仏田寄進状	帖	34, 2-13	
文和 2. 11. 18	慈願孟蘭盆会料田寄進状	帖	69, 3-18	
文和 3. 11. 3	成秀田地売券	帖	35, 2-14	
文和 3. 11. 27	介三郎田地讓状	帖	36, 2-15	
文和 3. 11. 27	介三郎田地讓状案	帖	37, 2-16	
文和 3. 12. 13	教道燈油田寄進状	帖	38, 2-17	
正平 10. 8. 21	南朝某宮令旨	卷	436, 1-5	
文和 4. 11. 8	大原庄領家方年貢米請取状(切紙)	帖	39, 2-18	
延文 2. 2. 13	実祐田地売券	帖	40, 2-19	
延文 5. 4. 11	西蓮・西信伊福貴両社不断経田寄進状	帖	147, 5-30	
延文 5. 8. 8	常念田地讓状	帖	41, 2-20	
貞治 3. 11. 18	四役神事注文案	帖	146, 5-29	
貞治 5. 1. 11	了智先師忌日田寄進状	帖	43, 2-22	下部欠
応安 2. 2. 9	某田地売券	その他	475, -4	
応安 2. 4. 21	伊吹山住山伏衆中連署請文	帖	124, 5-7	
応安 3. 11. 一	春照明幸田地避渡状	帖	42, 2-21	
応安 5. 12. 8	良朝安丸名田地寄進状	帖	148, 5-31	
(応安) 一. 一	熊野山山伏行者講置文案	帖	125, 5-8	
永和 1. 4. 25	平俊実田地売券(前欠)	帖	44, 2-23	
永徳 1. 8. 一	春照秀重仏田寄進状	帖	92, 3-41	
永徳 1. 11. 9	初女田地売券	帖	45, 2-24	下部欠
至徳 2. 2. 22	良門三所権現田寄進状	帖	21, 1-21	
嘉慶 3. 3. 8	教道田地売券	帖	46, 2-25	
康応 1. 7. 28	山門東塔北谷禪林院集会事書案	帖	108, 4-13	
康応 1. 9. 18	山門東塔北谷禪林院集会事書案	帖	109, 4-14	
(南北朝) 一. 一	某奉書案	帖	144, 5-27	
明德 2. 11. 10	左近田地売券	帖	47, 2-26	
明德 3. ⑩. 27	盛尊福満寺如法経奉納田寄進状	帖	48, 2-27	
明德 3. 11. 29	某塔供養法田等寄進状	帖	155, 6-1	
明德 3. 12. 一	成秀・盛尊連署置文	帖	249, 8-27	
明德 5. 1. 18	夫馬一色百姓等連署名田寄進状	帖	49, 2-28	
明德 5. 1. 18	夫馬一色百姓等連署名田寄進状案	帖	50, 2-29	49の案文
明德 5. 1. 18	夫馬一色百姓等連署名田寄進状案	帖	51, 2-30	49の案文
明德 5. 6. 17	大原満信領家米寄進状	帖	52, 3-1	
応永 2. 7. 25	大原満信下知状	帖	53, 3-2	
応永 3. 5. 13	大原満信野島寄進状	帖	54, 3-3	
応永 3. 12. 15	院主教替他七名連署置文	卷	466, 7-1	
応永 5. 2. 4	慶祐・院主実海連署置文	帖	143, 5-26	

年月日	文書名	種類	番号	備考
応永 7. 8. 22	大原満信置文	帖	55, 3-4	
応永 7. 8. 一	伊吹山太平・長尾・観音三ヶ寺山伏等申状案	その他	476, -5	
応永 7. 8. 一	伊吹山太平・長尾・観音三ヶ寺山伏等申状案	仮末	624, -44	476に同じ
応永 7. 10. 7	伊吹山大乗峯一宿定書高札案	帖	126, 5-9(2)	
応永 7. 10. 7	伊吹山大乗峯一宿定書碑文案	帖	126, 5-9(1)	
応永 9. 7. 12	尼宗観結夏料足田寄進状	帖	157, 6-3	
応永 9. 9. 一	山門東塔北谷禅林院集会事書案	帖	112, 4-17	
(応永 9) 一. 一	伊吹山弥高寺縁起	帖	118, 5-1	端裏書・奥書あり
(応永 9) 一. 一	伊吹山弥高寺縁起	帖	119, 5-2	端裏書・奥書なし
応永 11. 2. 5	廻向聖霊記	仮末	603, -23	
応永 11. 9. 18	伊崎寺五ヶ寺掟書案	帖	127, 5-10	
応永 11. 10. 22	大原満信田地寄進状案	帖	56, 3-5	
応永 11. 12. 27	浄円田地売券	帖	158, 6-4	
応永 12. 一. 一	本堂造作次第	帖	117, 4-22	
応永 13. 7. 8	仁和寺御宝 <small>永助法親王</small> 令旨案	帖	128, 5-11	
応永 13. 11. 30	進士如法経田寄進状	帖	159, 6-5	
応永 13. 12. 25	菅原俊久田地売券	帖	160, 6-6	
応永 13. 12. 25	菅原俊久田地売券案	帖	181, 6-27(2)	160の案文
応永 15. 12. 23	夫馬郷百姓中連署仏田天役寄進状	帖	161, 6-7	
応永 15. 12. 23	夫馬郷百姓中連署仏田天役寄進状案	帖	162, 6-8	161の案文
応永 15. 12. 23	夫馬郷百姓中連署仏田天役寄進状案	帖	163, 6-9	161の案文
応永 16. 4. 7	某書状案	その他	477, -6	
応永 16. 9. 20	山門東塔北谷虚空蔵尾集会事書案	帖	110, 4-15	
応永 17. 2. 3	馬三郎田地売券	帖	164, 6-10	
応永 17. 11. 11	賢智田地売券	帖	165, 6-11	
応永 20. 8. 19	円玄陀羅尼田寄進状	帖	166, 6-12	
応永 20. 10. 20	一乗坊聖米注文案	帖	167, 6-13	
応永 21. 9. 2	山門東塔北谷虚空蔵尾集会事書案	帖	111, 4-16	
応永 22. 11. 16	成意他四名連署法花三昧田寄進状	帖	168, 6-14	
応永 23. 12. 16	成意他四名連署法花三昧田寄進状	帖	169, 6-15	
応永 24. 12. 21	西山検校田地売券	帖	170, 6-16	
応永 26. 2. 27	本堂造作日記帳	記録	651, -1	仮袋綴・表紙共21
応永 30. 8. 9	経信仏田寄進状(折紙)	巻	437, 2-1	
応永 30. 10. 23	いちあけ女田地売券	帖	171, 6-17	
応永 30. 12. 15	観音寺法輪院仏田納帳	記録	652, -2	仮袋綴・表紙共11
応永 33. 12. 8	右進田地売券	帖	172, 6-18	
応永 33. 12. 21	介四郎田地売券	帖	173, 6-19	
永享 1. 10. 3	重親仏田寄進状	帖	193, 7-1	
永享 2. 11. 10	守護六角氏奉行人奉書案(折紙)	帖	98, 4-3	
永享 3. 4. 8	重親下地寄進状	帖	113, 4-18	
永享 4. 11. 一	大原持綱判物	巻	438, 2-2	
永享 4. 12. 19	右馬次郎田地売券	帖	194, 7-2	
永享 5. 3. 29	大原持綱段銭寄進状案	帖	61, 3-10	

年月日	文書名	種類	番号	備考
永享 5. 3. 29	大原持綱段銭寄進状案	帖	62, 3-11	61に同じ
永享 5. 3. 29	大原持時段銭寄進状	卷	440, 2-4	
永享 6. 12. 11	道円田地売券	帖	195, 7-3	
永享 7. 11. 15	権律師定賢忌日田寄進状	帖	196, 7-4	
永享 7. 11. 15	権律師定賢忌日田寄進状	帖	197, 7-5	
永享 8. 3. 23	棧敷日記	記録	653, -3	仮袋綴・表紙共16
永享 9. 3. 23	右馬次郎田举米請文	帖	198, 7-6	
永享 9. 5. 15	藤九郎田島売券	帖	199, 7-7	
永享 10. 2. 15	新介田地売券	帖	200, 7-8	
永享 10. 3. 16	弥介島地売券	帖	201, 7-9	
永享 10. 4. 26	長者大西性隆・同村田元澄連署書状	帖	129, 5-12	奥上に欠失あり
永享 10. 4. 29	四ヶ寺掟書案	帖	130, 5-13	上部欠
永享 10. 6. 15	伊吹山三カ寺衆徒等申状案	その他	478, -7	
永享 10. 6. 15	御遷宮三ヶ衆徒等連署起請文	帖	131, 5-14	上部欠
永享 10. 6. 25	観音寺寺領注文(断簡)	帖	244, 8-22	
永享 10. 8. 18	大原持綱千部経興行寄進状案	帖	57, 3-6	
永享 10. 8. 18	大原持綱千部経興行寄進状案	帖	58, 3-7	57に同じ
永享 10. 8. 18	大原持綱千部経興行寄進状案	帖	59, 3-8	57に同じ
永享 10. 12. 2	孝道島地売券	帖	203, 7-11	
永享 10. 12. 19	俊土島地売券	帖	204, 7-12	
永享 11. 2. 9	新介田地売券	帖	205, 7-13	
永享 11. 4. 8	右馬二郎万雑公事売券	帖	202, 7-10	
永享 11. 5. 10	妙性田地売券	帖	206, 7-14	
永享 11. 6. 25	大原信成千部経田注文	帖	60, 3-9	57・58・59参照
永享 11. 12. 15	又五郎田地売券	帖	207, 7-15	
(永享) 一. 一	観音寺寺領注文(断簡)	帖	245, 8-23	
(永享) 一. 一	公方年貢取地注文(断簡)	帖	243, 8-21	
嘉吉 2. 12. 15	慶祐証文	帖	253, 8-31	
嘉吉 2. 一. 一	千部経田注文	記録	654, -4	仮袋綴・表紙共4
嘉吉 3. 2. 13	聖尊・聖恵・聖意連署田地寄進状	帖	174, 6-20	
文安 3. 1. 14	融尊田地寄進状	帖	175, 6-21	
文安 3. 12. 3	弥高寺等覚房田地売券	帖	176, 6-22	
宝徳 1. 11. 27	弥助田地売券	帖	177, 6-23	
宝徳 2. 4. 11	伊庭満隆遵行状案(折紙)	帖	101, 4-6	
宝徳 2. 4. 11	伊庭満隆遵行状案(折紙)	帖	103, 4-8	
宝徳 2. 4. 11	守護六角氏奉行人奉書案(折紙)	帖	99, 4-4	
宝徳 2. 4. 11	六角満信書下案	帖	102, 4-7	
宝徳 2. 4. 13	石橋祐親遵行状案(折紙)	帖	100, 4-5	
宝徳 3. 9. 21	尼孝心田地寄進状	帖	178, 6-24	
宝徳 4. 3. 2	対馬守信長・越前守信業連署定書	帖	133, 5-16	
宝徳 4. 6. 23	聖恵田地寄進状	帖	179, 6-25	
享徳 2. 4. 13	彦左近他五名講衆連署証文	帖	252, 8-30	
享徳 2. 8. 3	観音寺寺領注文案	帖	237, 8-15	

年月日	文書名	種類	番号	備考
享徳 2. 8. 3	観音寺寺領注文案	帖	238, 8-16	237に同じ
享徳 2. 8. 4	観音寺寺領田数注文(後欠)	仮未	610, -30	
享徳 3. 8. 22	大原持綱安堵状	卷	439, 2-3	
?	一、一 観音寺仏田注文	帖	236, 8-14	康正元年の某裏書有
康正 2. 6. 20	観音寺仏田目安	記録	655, -5	仮袋綴・表紙共25
康正 2. 6. 25	恵海田畠寄進状	帖	180, 6-26	
長祿 1. 12. 29	上坂上野入道代正運契状	帖	181, 6-27(1)	
長祿 1. 12. 吉	観音寺役所請文案	帖	94, 3-43	
長祿 1. 12. 吉	観音寺役所請文案	帖	105, 4-10	94に同じ
長祿 1. 12. 吉	片山乗晴・小倉実秀連署寄進状	帖	93, 3-42	
長祿 1. 12. 吉	片山乗晴・小倉実秀連署寄進状案	帖	104, 4-9	93の案文
長祿 1. 12. 吉	片山乗晴・小倉実秀連署証状案	帖	95, 3-44	
長祿 2. 5. 11	大原持綱田地寄進状	帖	70, 3-19	人名は439から推定
長祿 2. 11. 6	尼妙跡畠地売券	帖	182, 6-28	
長祿 3. 8. 11	円秀書状案(断簡)	帖	242, 8-20	
長祿 3. 8. 11	寺領田数注文(断簡)	その他	479, -8	
長祿 3. 12. 18	大蔵高範田地売券	帖	183, 6-29	
長祿 4. 1. 24	食堂銭下用帳	記録	657, -7	仮袋綴・表紙共10
長祿 4. 1. 24	食堂銭納帳	記録	656, -6	仮袋綴・表紙共7
長祿 4. 11. 16	元時書状	その他	480, -9	
長祿 4. 11. 24	菅原忠行田地売券	帖	184, 6-30	
長祿 4. 12. 5	畠中堯全下地安堵状(折紙)	卷	441, 2-5	
長祿 4. 12. 29	兵衛田地売券	帖	185, 6-31	
寛正 1. 12. 吉	浄因庵正清仏田寄進状	帖	186, 6-32	
寛正 2. 10. 9	白子綱安・則恒綱泰連署折紙(折紙)	帖	71, 3-20	
寛正 2. 10. 13	聖寿院徳長田地寄進状	帖	187, 6-33	
寛正 2. 11. 15	左衛門・梅本連署田地売券	帖	188, 6-34	
寛正 3. 12. 7	堯意書状(折紙)	帖	114, 4-19	
寛正 4. ⑥. 21	慶秀法華講仏田寄進状	帖	189, 6-35	
寛正 4. 11. 8	学頭房常住物家具帳	帖	254, 8-32	応仁2年10月18日の 奥書あり
寛正 5. 6. 2	衛門畠地寄進状	帖	190, 6-36	
寛正 5. 9. 吉	下司・公文代連署田地寄進状	帖	191, 6-37	
寛正 5. 11. 晦	右馬・右馬二郎連署契状	その他	481, -10	
寛正 6. 4. 14	了徳燈明畠寄進状	帖	192, 6-38	
寛正 6. 5. 21	観音寺衆徒中請文案	帖	134, 5-17	
文正 2. 3. 21	藤庄司後家公方年貢寄進状	帖	334, 11-1	
応仁 2. 10. 2	一乗坊他三名連署田地寄進状	帖	336, 11-3	
応仁 2. 10. 2	一乗坊他三名連署田地寄進状案	帖	339, 11-6	336の案文
応仁 2. 10. 2	一乗坊他三名連署田地寄進状	帖	338, 11-5	
応仁 2. 10. 2	一乗坊他三名連署畠地寄進状	帖	335, 11-2	
応仁 2. 10. 18	春海房舎田地等証文	帖	251, 8-29	
応仁 2. 12. 23	土田章好折紙(折紙)	帖	115, 4-20	

年月日	文書名	種類	番号	備考
応仁 2.12.29	藤庄司後家・治部・菊女畠地売券	帖	337, 11-4	
応仁 3. 4.21	慶真田地寄進状	帖	340, 11-7	
応仁 3. 4.28	弁公聖尊田畠売券	帖	341, 11-8	
応仁 3. 7.12	慶門仏田寄進状	帖	342, 11-9	
文明 5. 5.21	院主聖智・公文聖運連署田地売券	帖	343, 11・10	
文明 5. 6.13	信定下地寄進状	帖	116, 4-21	
文明 5. 8.25	宣運下地寄進状	帖	344, 11-11	
文明 5. 8. 一	観音寺仏田注文案	その他	482, -11	
文明 6. 2.17	宣運田地寄進状	帖	345, 11-12	
文明 6. 2.17	宣運田地寄進状案	帖	346, 11-13	345の案文
文明 7. 6. 吉	門岡直慶証状	帖	231, 8-9	
文明 8. 3. 吉	本堂建立記録	記録	658, -8	仮袋綴・表紙共18
文明 8. 3. 吉	本堂造立米銭下用帳	記録	659, -9	仮袋綴・表紙共22
文明 8. 6.12	聖尊下地寄進状	帖	347, 11-14	
文明 8. 6.12	聖尊下地寄進状	帖	348, 11-15	
文明 8. 9. 一	本堂造立勸進銭納帳	記録	660, -10	仮袋綴・表紙共13
文明 9. 9. 8	神事役注文	帖	239, 8-17	
文明 9.12. 7	源慶畠地寄進状	帖	232, 8-10	
文明 9.12. 7	源慶法華講田寄進状	帖	349, 11-16	
文明 9.12. 7	源慶法華講田寄進状	帖	350, 11-17	
文明 9.12. 7	源慶本尊田寄進状	帖	351, 11-18	下部欠
文明 11. 2. 5	藤五郎他三名連署田地寄進状	帖	352, 11-19	
文明 11. 3.21	洪運書状	帖	353, 11-20	
文明 11. 8.16	聖尊本尊年貢等寄進状	卷	467, 7-2	
文明 11.11.21	慶運法華講田寄進状	帖	354, 11-21	
文明 11.12. 7	慶運学頭坊田寄進状	帖	355, 11-22	
(文明12) 6. 一	観音寺寺領注文案	帖	233, 8-11	
文明 12. 9. 5	観音寺諸講説帳	記録	661, -11	仮袋綴・表紙共11
文明 12. 9. 5	観音寺仏田目録	記録	662, -12	仮袋綴・表紙共31
文明 13. 7.24	喜久田直久田地売券	帖	356, 11-23	下部欠
文明 14. 9.16	重満安堵状(折紙)	卷	442, 2-6	
文明 15. 1.18	突運田地寄進状	帖	358, 11-25	
文明 16.12.27	大原政重天役免除状(折紙)	卷	443, 2-7	
文明 18. 5.28	観音寺寺領注文案	帖	234, 8-12	235に同じ
文明 18. 5.28	観音寺寺領注文案	帖	235, 8-13	234に同じ
文明 18.12.29	家久田地売券	帖	359, 11-26	
文明 19. 2. 一	観音寺塔田十七夜法花三昧田算用状	帖	240, 8-18	
(文明) 9.16	上坂家信・上坂秀信・石田景俊連署書状(折紙)	卷	465, 6-1	
長享 1.12.23	春運田地売券	帖	208, 7-16	
長享 1. 一. 一	観音寺過去帳	記録	663, -13	仮袋綴・表紙共12
延徳 2. 8. 6	小足藤五法花講中田寄進状	帖	209, 7-17	
延徳 2. 8. 6	小足藤五本尊田寄進状	帖	210, 7-18	
延徳 2.12.19	聖之供米定書	帖	153, 5-36	

年月日	文書名	種類	番号	備考
延徳 2.12.一	阿闍梨銭神事銭注文(断簡)	その他	483,-12	
延徳 2.12.吉	祈禱陀羅尼日録	帖	152,5-35	
延徳 2.12.吉	慶濟・院主慶春・春運連署観音寺廿三坊年貢定書	帖	154,5-37	
延徳 3.3.29	公文聖慶・院主慶春連署田地売券	帖	211,7-19	
延徳 3.12.15	西谷坊地配分状案	帖	255,9-1	
明応 3.7.2	観音寺寺領田数注文案	その他	484,-13	
明応 7.6.14	春運下地寄進状	帖	212,7-20	
明応 7.8.一	諸役帳断簡	仮未	601,-21	3枚
明応 7.9.6	祖文田地寄進状	帖	213,7-21	
明応 7.11.一	池之坊田畠寄進状案	帖	214,7-22	
明応 9.2.4	祖文学頭坊田畠寄進状	帖	215,7-23	
明応 9.5.2	西山檢校段銭寄進状	帖	150,5-33	
明応 9.12.7	院主慶春・若頭慶尊連署掟書	帖	132,5-15	
明応 9.12.7	浄教・慶舜・慶尊連署起請文	帖	151,5-34	
明応 9.12.7	浄教・慶舜・慶尊連署起請文	その他	485,-14	151と異筆同文
明応 10.1.20	夫馬郷百姓中連署節田公事米寄進状	帖	216,7-24	
文亀 1.12.5	院主慶春・公文慶俊連署居屋敷売券	帖	217,7-25	
文亀 2.4.3	幕仕立次第	帖	149,5-32	
文亀 2.11.10	石田俊久田地売券	帖	218,7-26	
文亀 2.11.10	石田俊久田地売券	帖	219,7-27	
文亀 2.11.10	石田俊久田地売券案	帖	220,7-28	
文亀 2.12.11	聖舜田地売券	帖	221,7-29	
永正 1.7.18	源舜田地寄進状	帖	297,10-1	
永正 1.7.18	源舜島地寄進状	帖	360,12-1	
永正 2.4.13	石田俊久田地売券	帖	298,10-2	
永正 2.6.21	院主慶春・公文慶智連署田地売券	帖	361,12-2	
永正 2.7.26	観音寺寺領注文案	帖	256,9-2	
永正 2.8.10	町田安忠田地寄進状	帖	299,10-3	
永正 3.5.13	石田俊久田地売券	帖	300,10-4	
永正 3.12.7	院主慶濟・公文慶智連署田地売券	帖	363,12-4	
永正 3.12.13	院主慶濟・公文慶智連署田地売券	帖	362,12-3	
永正 3.12.13	祖文大師講田証文	帖	257,9-3	
永正 6.12.13	祖文田地寄進状	帖	364,12-5	
永正 6.12.13	祖文田地寄進状	帖	367,12-8	
永正 6.12.13	祖文田地寄進状	帖	368,12-9	
永正 6.12.13	祖文田地寄進状案	帖	365,12-6	368の案文
永正 6.12.13	祖文田地寄進状案	帖	366,12-7	
永正 7.9.5	院主慶濟・公文慶舜連署証文案	帖	260,9-6	
永正 8.4.12	浄教田地売券	帖	369,12-10	
(永正10) 3.27	観音寺寄進分米注文案	帖	261,9-7	301参照
永正 10.3.27	観音寺寺領注文(断簡)	帖	301,10-5	261参照
永正 10.3.27	観音寺諸寄進分米注文(断簡)	仮未	611,-31	

年月日	文書名	種類	番号	備考
永正 10. 3. 27	観音寺諸寄進分米注文案	その他	486, -15	
永正 10. 6. 26	賢祐田地売券	帖	370, 12-11	
永正 14. 12. 5	観音寺法輪田千部経田田数注文案	その他	487, -16	
永正 15. 9. 23	孫四郎田地売券	帖	371, 12-12	
永正 16. 2. 21	慶俊・公文快賢連署置手	帖	262, 9-8	
永正 16. 3. 18	大西昌範書状	帖	302, 10-6	
永正 16. 6. 3	観音寺寺領注文案	帖	259, 9-5	
永正 16. 6. 3	観音寺寺領田数注文案	その他	488, -17	
永正 16. 6. 4	観音寺千部経田田数注文(断簡)	帖	263, 9-9	
永正 17. ⑥. 23	夫馬百姓五郎庄司他五名連署仏田証文	帖	264, 9-10	
永正 17. 8. 14	公文乘慶・慶俊連署聖置手状案	帖	265, 9-11	花押は写
永正 18. 2. 2	慶源屋敷畠田売券	帖	372, 12-13	
(永正) 10. 28	上坂政道書状	帖	78, 3-27	
大永 3. 7. 26	観音寺寺領注文案	帖	266, 9-12	256とほぼ同文
大永 3. 9. 7	寺領注文案(断簡)	卷	469, 7-4	
大永 3. 10. 28	観音寺本坊廿三坊年貢定書案(前欠)	その他	489, -18	
大永 3. 10. 28	東谷坊地配分状案	帖	267, 9-13	
大永 5. 2. 27	広田重久田地寄進状	帖	303, 10-7	
大永 5. 4. 6	円慶田地寄進状	帖	373, 12-14	
大永 5. 4. 6	円慶預ケ状	帖	268, 9-14	
大永 5. 4. 6	円舜寄進状	その他	490, -19	
大永 5. 12. 13	祈禱巻数目錄	帖	271, 9-17	
大永 6. 5. 14	五郎兵衛作職請文	帖	306, 10-10	
大永 6. 11. 13	観音寺寺領注文案	帖	269, 9-15	
大永 6. 11. 13	観音寺寺領注文案	その他	491, -20	269に同じ
大永 6. 11. 15	寺領田数注文案(前欠)	その他	492, -21	
大永 6. 11. 16	夫馬郷段銭証文案	帖	304, 10-8	
大永 6. 11. 18	夫馬郷節田段銭証文案	帖	305, 10-9	
大永 7. 12. 2	観音寺若衆畠加地子注文案	その他	493, -22	奥書あり
大永 7. 12. 28	町田家治田地売券	帖	307, 10-11	
大永 8. 9. 19	寺僧中寺前田地關取人掟書案	帖	270, 9-16	
(大永) 8. 29	浅井亮政書状(折紙)	卷	446, 3-2	
(大永) 11. 8	浅井亮政安堵状(折紙)	卷	445, 3-1	
享祿 1. 12. 5	院主慶運・公文永源・舜慶連署田地売券	帖	374, 12-15	
享祿 2. 11. 15	院主慶運・二和尚賢舜連署公方年貢米沽却掟書	帖	272, 9-18	
享祿 2. 12. 8	彦四郎・又次郎連署書状(折紙)	帖	72, 3-21	
享祿 2. 12. 25	右近太郎畠地売券	帖	308, 10-12	
享祿 3. 12. 8	聖慶田地寄進状	帖	375, 12-16	
享祿 3. 12. 8	聖慶田地寄進状案	帖	367, 12-17	375の案文
享祿 3. 12. 20	高慶奉書	卷	444, 2-8	
享祿 3. 12. 20	氏重・信忠連署書状(半切紙)	その他	494, -23	
享祿 4. 11. 21	院主賢舜・二和尚舜慶・公文聖翁連署田地売券	帖	377, 12-18	
享祿 4. 11. 21	院主賢舜・二和尚舜慶・公文聖翁連署田地売券	帖	378, 12-19	

年月日	文書名	種類	番号	備考
(享祿) 3.18	馬淵氏重・野一色亮頼連署書状	帖	79, 3-28	
享祿 5. 4. 3	彦右衛門田地売券	帖	222, 7-30	
天文 1.11. 1	公文聖慶他四名連署田地売券	帖	379, 12-20	
天文 1.11. 1	公文聖慶他四名連署田地売券	帖	381, 12-22	
天文 1.11.13	院主賢舜・公文聖慶・年行事永源連署田地売券	帖	380, 12-21	
天文 3. 1.11	烏脇吉久書状案	帖	309, 10-13	
天文 3. 2.15	乘慶田地寄進状	帖	382, 12-23	
天文 3. 2.24	慶智他三名連署田地売券	帖	383, 12-24	
天文 3. 4. 3	夫馬郷七人衆連署正月廿日御節寄進状	帖	385, 12-26	
天文 3. 4. 3	夫馬郷七人衆連署正月廿日御節売券	帖	384, 12-25	
天文 3. 6.20	永源田地寄進状	帖	386, 12-27	
天文 3. 6.20	永源田地寄進状	帖	387, 12-28	
天文 3.11. 8	藤太夫・藤九郎連署正月廿日御節寄進状	帖	390, 12-31	
天文 3.11. 8	藤太夫公事米寄進状	帖	388, 12-29	
天文 3.11.15	慶智正月廿日夫馬郷御節寄進状	帖	389, 12-30	
天文 3.12.11	観音寺年行事五十石米皆濟状案	その他	500, -29	
天文 4. 2.15	卯月朔日祭礼掟書案	帖	310, 10-14	
天文 4. 3.26	聖翁田地寄進状	帖	391, 12-32	
天文 4. 8.15	舜慶・賢舜連署出仕掟書	仮末	602, -22	
(天文5) 8. 7	詮運書状(折紙)	帖	73, 3-22	
天文 5. 8.11	尊祐書状案(折紙)	帖	74, 3-23	73への返状
天文 5.12.15	院主慶運・二和尚舜慶・三和尚門舜連署観音寺衆徒掟書	帖	273, 9-19	
天文 6. 3.15	次郎四郎・藤次郎連署書状(折紙)	帖	75, 3-24	
天文 7. 1.28	正月二十八日行掟書案	帖	274, 9-20	
天文 7. 3.10	観音寺年行事五十石米納所状案	その他	501, -30	
天文 7.12.18	慶舜田地寄進状	帖	392, 12-33	
天文 7.12.20	聖慶田地譲状	帖	393, 12-34	
天文 8. 2.19	源慶田地売券	帖	394, 12-35	
天文 8. 4.18	長珊田地売券	帖	395, 12-36	天文23年の裏書有
天文 8. 7. 7	水原氏家長日護摩料寄進状(折紙)	巻	456, 4-3	
天文 8.11.18	聖翁田地売券	帖	396, 12-37	
天文 8.12.11	惣助田地売券	帖	397, 12-38	
天文 8.12.13	今庄惣百姓中連署田地売券	帖	398, 12-39	
天文 9. 3.22	慶秀田地寄進状	帖	399, 12-40	
天文 9.12. 2	観音寺若頭渡掟書案	帖	275, 9-21	
天文 9.12.15	行門田地売券	帖	400, 12-41	
天文 9.12.16	中之坊・梅本坊連署請文案	帖	311, 10-15	
天文 10. 8.29	某申状案	帖	312, 10-16	
天文 10.12. 8	侍従田地売券	帖	401, 12-42	404と花押同じ
天文 10.12.18	水原兼治書状(折紙)	帖	66, 3-15	
天文 10.12.18	水原兼治書状案(折紙)	帖	67, 3-16	66の案文
天文 11.11.23	藤次郎田地売券	帖	402, 12-43	

年月日	文書名	種類	番号	備考
天文 13. 1. 24	上坂定信書状(折紙)	卷	457, 4-4	
天文 13. 1. 吉	七条村人中連署田地売券	帖	403, 12-44	天文22年の裏書有
天文 13. 6. 23	広田光信寄進状	帖	320, 10-24	
天文 13. 10. 9	成菩提院円俊書状	その他	502, -31	
天文 13. 12. 13	宗通・かん二郎連署田地売券	帖	405, 12-46	
天文 13. 12. 19	侍従田地売券	帖	404, 12-45	401と花押同じ
天文 15. 5. 15	聖海書状	帖	406, 12-47	
天文 16. 11. 20	公文宗舜・院主賢祐・二和尚頼源連署置文	帖	276, 9-22	
天文 16. 12. 13	定円島地売券	帖	407, 12-48	
天文 17. 7. 15	次郎衛門島地売券	帖	408, 12-49	
天文 17. 10. 18	山王講結束掟書案	帖	277, 9-23	
天文 17. 11. 21	水原高誠書状(折紙)	卷	462, 4-9	
天文 17. 11. 21	水原氏家書状(折紙)	卷	461, 4-8	
天文 17. 11. 29	井上貞次・坪田定清連署書状(折紙)	帖	76, 3-25	
天文 17. 12. 1	若衆島加地子注文	卷	470, 7-5	
天文 18. 4. 5	野一色亮頼書状(折紙)	帖	77, 3-26	
天文 19. 4. 19	遍雄法花講田島寄進状	帖	409, 12-50	
天文 20. 2. 2	彦次郎・弥四郎・藤左衛門連署書状	帖	278, 9-24	
天文 20. 10. 9	道厳本尊田寄進状	帖	410, 12-51	
天文 20. 11. 21	西左近田地売券	帖	411, 12-52	
天文 20. 12. 3	町田秀信田地売券	帖	313, 10-17	
天文 20. 12. 24	浅井久政安堵状(折紙)	卷	452, 3-8	
天文 21. 4. 8	堀部家次一職預状	帖	315, 10-19	
天文 21. 4. 8	頼源本尊田寄進状	帖	412, 12-53	
(天文21) 8. 15	浅井久政書状	卷	451, 3-7	
天文 21. 11. 10	浅井久政書状(折紙)	卷	453, 3-9	
天文 21. 11. 吉	観音寺廿三坊連署契状	帖	314, 10-18	
天文 21. 11. 吉	観音寺廿三坊連署契状案	その他	503, -32	314の案文
天文 22. ①. 14	雑色・力者中連署契状	帖	317, 10-21	
天文 22. ①. 14	雑色・力者中連署契状案	帖	318, 10-22	317の案文
天文 22. 2. 13	野村在五書状	帖	316, 10-20	
天文 22. 2. 吉	院主賢祐・年行事慶源・公文聖海連署田地売券	帖	413, 12-54	
天文 22. 3. 10	藤右衛門尉寄進状	帖	403, 12-44 B	403の裏書文書
天文 23. 7. 5	聖翁田地寄進状	帖	415, 12-56	
天文 23. 7. 5	聖翁田地寄進状	帖	416, 12-57	
天文 23. 11. 25	公文慶海・年行事定円・慶舜連署田地売券	帖	414, 12-25	
天文 23. 12. 28	徳乗田地売券	帖	395, 12-36 B	395の裏書文書
天文 24. 3. 15	堀部家次年貢米預状	帖	319, 10-23	
天文 24. 3. 18	広田光信年貢米・諸成物寄進状	帖	321, 10-25	
天文 24. 8. 7	孫左衛門尉・孫三連署契状	帖	322, 10-26	
天文 24. 8. 26	遍雄忌日弔読誦入目掟書案	帖	279, 9-25	
(天文) 7. 8	水原氏家安堵状(折紙)	卷	455, 4-2	
(天文) 一. 一	永源田地寄進状	帖	156, 6-2	

年月日	文書名	種類	番号	備考
(天文) 一.一	観音寺諸役銭注文(断簡)	仮末	612,-32	
(天文) 一.一	聖翁田地寄進状	帖	292,9-38	
弘治 2.11.5	坪田定清書状	帖	326,10-30	
弘治 3.12.28	観音寺惣中祠堂銭借用状案	帖	417,12-58	
弘治 3.12.28	聖翁他四名連署祠堂銭借用状	帖	328,10-32	
(弘治3) 一.一	神事銭阿闍梨銭注文案(断簡)	その他	504,-33	
弘治 4.1.16	乘慶田地寄進状	帖	418,12-59	
弘治 4.1.16	乘慶田地寄進状	帖	419,12-60	
永禄 2.1.一	宝泉坊他四坊連署祠堂銭借用状案	帖	323,10-27	
永禄 2.12.27	孫三田地作職売券	帖	420,12-61	
永禄 2.12.27	孫大夫・孫三・篠内連署清助名作職請文	帖	280,9-26	
永禄 3.4.10	野村定知書状	帖	329,10-33	
永禄 3.10.16	惣持坊他九坊連署料足預状	帖	327,10-31	
永禄 3.10.17	年行事慶舜・公文良慶連署料足預状案	帖	281,9-27	
(永禄3) 10.19	中嶋直頼書状案(折紙)	帖	83,3-32	
永禄 3.11.2	浅井賢政安堵状(折紙)	卷	447,3-3	
(永禄3) 12.23	中嶋直頼書状(折紙)	卷	454,4-1	
永禄 3.12.25	中間与左兵衛・同又次郎連署申状	帖	325,10-29	
永禄 4.2.10	速藤直経書状(折紙)	卷	463,4-10	
(永禄4) ③.11	間宮家秀書状	その他	511,-40	
永禄 4.③.13	赤尾清綱書状(折紙)	卷	458,45-5	
(永禄4) ③.13	中嶋直頼書状(折紙)	帖	85,3-34	
永禄 4.11.11	慶舜田地売券	帖	422,12-63	
永禄 4.12.17	及慶田地売券	帖	429,12-70	
永禄 5.3.吉	栄翁田地売券	帖	424,12-65	421・426と花押同じ
永禄 5.4.10	阿弥陀講結衆掟書案	帖	282,9-28	
永禄 5.4.10	聖翁阿弥陀講田寄進状	帖	423,12-64	
永禄 5.12.2	若頭宗舜・定門連署掟書	帖	283,9-29	
永禄 6.2.17	賢濟田地売券	帖	425,12-66	
永禄 6.3.23	栄翁田地屋敷寄進状	帖	426,12-67	421・424と花押同じ
永禄 6.5.吉	栄翁田地売券	帖	421,12-62	424・426と花押同じ
永禄 6.10.29	浅井長政書状(折紙)	卷	449,3-5	
永禄 6.12.一	石田正継書状案	その他	523,-52	
永禄 6.⑩.6	惣中書状案	帖	284,9-30	
永禄 6.⑩.10	観音寺巨細帳	記録	664,-14	仮袋綴・表紙共41
永禄 7.3.20	中村家次申状	帖	285,9-31	
永禄 7.7.7	竹腰氏信施餓鬼田寄進状	帖	333,10-37	
永禄 7.12.11	井関秀清田地売券	帖	332,10-36	
永禄 7.12.28	井関親房田地売券	帖	331,10-35	
永禄 8.2.15	実相坊田地売券	帖	431,12-72	
永禄 8.2.一	年行事栄翁契状	帖	330,10-34	
永禄 8.2.一	年行事栄翁証状案	帖	286,9-32	
永禄 8.12.29	浅井長政書状(折紙)	卷	450,3-6	

年月日	文書名	種類	番号	備考
永禄 9.12. 2	院主聖翁老僧講掟書	帖	287, 9-33	
永禄 10. 6. 6	石田直清・同定次連署契状	帖	324, 10-28	
永禄 10.12. 2	聖翁田地寄進状	帖	430, 12-71	
永禄 10. --. --	年行事某書状案	仮末	585, -5	包紙あるも別のものか
永禄 11. 7. --	慶舜田地寄進状	帖	427, 12-68	
永禄 11. 8.15	院主聖翁・公文榮舜・若頭榮翁連署本堂所作勤行行法掟書	帖	291, 9-37	
永禄 11.12. 2	老僧講納帳案	帖	288, 9-34	
永禄 11.12. 6	孫太夫田島屋敷売券	帖	428, 12-69	
永禄 12.12. 2	若衆掟書案	帖	290, 9-36	
永禄 12.12. 2	老僧講納日記案	帖	289, 9-35	
(永禄) 4. 4	浅井井演・伊吹政家・野村定但連署書状(折紙)	卷	448, 3-4	
(永禄) 4.11	遠藤直経書状	その他	520, -49	
(永禄) 4.11	中島直頼書状	その他	516, -45	
(永禄) 5. 4	水原賢詮書状	その他	507, -36	
(永禄) 6.27	遠藤直経書状	その他	521, -50	
(永禄) 6.晦	中嶋直頼書状(半切紙)	帖	89, 3-38	
(永禄) 7. 7	坪田定清書状	その他	512, -41	
(永禄) 7.11	磯野員昌書状(折紙)	卷	459, 4-6	
(永禄) 7.13	磯野員昌書状	帖	91, 3-40	
(永禄) 8.17	水原賢詮書状	その他	508, -37	
(永禄) 8.17	大原賢永書状(半切紙)	帖	63, 3-12	
(永禄) 9. 4	水原賢詮書状	その他	509, -38	
(永禄) 9. 4	大原亀松丸書状(半切紙)	帖	64, 3-13	
(永禄) 9.13	大原賢永書状(半切紙)	帖	65, 3-14	
(永禄) 9.18	石田正継書状(折紙)	帖	90, 3-39	
(永禄) 9.23	水原賢詮書状	その他	510, -39	
(永禄) 10.14	中島直頼書状	その他	517, -46	
(永禄) 10.20	宮川吉久書状(折紙)	帖	82, 3-31	
(永禄) 10.21	坪田定清・間宮家秀連署書状	その他	513, -42	
(永禄) 10.26	浅井氏奉行衆書状案	帖	84, 3-33	
(永禄) 11.11	中嶋秀次・三田村秀則連署書状	帖	81, 3-30	
(永禄) 11.13	水原氏家書状(折紙)	帖	68, 3-17	
(永禄) 11.18	中嶋直頼書状(折紙)	帖	87, 3-36	
(永禄) 11.20	中嶋直頼書状(折紙)	帖	88, 3-37	
(永禄) 11.22	中嶋直頼書状(折紙)	帖	86, 3-35	
(永禄) 12. 7	山田直政書状(折紙)	卷	460, 4-7	
(永禄) --.23	大原賢永書状	その他	506, -35	
(永禄) --. --	遠藤直経書状礼紙(断簡)	その他	522, -51	
(永禄) --. --	観音寺学頭田注文案	帖	248, 8-26	
(永禄) --. --	石田貞治書状	帖	80, 3-29	
(元亀) 8.24	木下秀吉折紙(折紙)	その他	525, -54	
(元亀) 12. 8	中島直親書状	その他	518, -47	

年月日	文書名	種類	番号	備考
(元亀) 12.14	中高直親書状	その他	519,-48	
(室町) 2.3	祐紹奉書案(折紙)	帖	97,4-2	
(室町) 5.16	南之坊書状	その他	498,-27	懸紙・表書あり
(室町) 9.18	弥高寺衆徒等申状案	帖	122,5-5	
(室町) 9.18	弥高寺衆徒等申状案	帖	123,5-6	122に同じ
(室町) 11.14	惣郷長衆中書状	その他	495,24	切封・表書あり
(室町) 12.1	観音寺寺領注文(断簡)	帖	246,8-24	
(室町) 12.10	伊吹家兼書状(前欠)	その他	514,-43	
(室町) --	院家靈供米注文案	その他	497,-26	
(室町) --	延年規式(断簡)	その他	496,-25	
(室町) --	観音寺一乘院学頭房法度掟書(後欠)	帖	241,8-19	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	224,8-2	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	225,8-3	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	226,8-4	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	227,8-5	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	228,8-6	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	229,8-7	
(室町) --	観音寺仏田注文(断簡)	帖	230,8-8	
(室町) --	歳末巻数草案	仮未	589,-9	
(室町) --	三宮不断法華経料足条々(後欠)	その他	515,-44	
(室町) --	寺領注文(断簡)	巻	468,7-3	
(室町) --	正月十八日御節様躰草案	帖	250,8-28	
(室町) --	相撲庭段銭注文案	帖	247,8-25	
(室町) --	大原庄内夫馬一色百姓等申状案(後欠)	その他	499,-28	
天正 1.10.16	年行事上ノ坊・公文谷本坊・二和尚惣持坊連署 借錢借米掟書	帖	293,9-39	
天正 1.10.16	二和尚惣持坊・年行事上ノ坊・公文谷本坊連署 神事阿闍梨銭出口掟書案	帖	294,9-40	
天正 1.10.16	米納帳	記録	665,-15	仮袋綴・表紙共10
(天正2) --	神事并阿闍梨銭注文案(断簡)	その他	505,-34	
天正 4.2.18	羽柴秀吉判物(折紙)	その他	526,-55	
天正 4.12.16	大乘時講田作職請文	帖	295,9-41	
天正 5.12.15	観音寺各坊廻田注文案(断簡)(前欠)	その他	527,-56	
天正 9.9.15	観音寺廿三坊連署掟書	帖	296,9-42	
天正 13.5.21	坂口ノ彦四郎他三名連署證文	仮未	613,-33	石田隠岐の黒印あり
天正 17.5.20	上夫馬・下夫馬・烏脇百姓中連署証状并慶長五年 石田正継証判	その他	528,-57	袖・紙継目・奥に石田正継の黒印有
(天正) --	石田正継書状	その他	524,-53	
(天正) --	観音寺検地帳留書	記録	666,-16	仮袋綴・表紙共33
慶長 4.12.3	後藤四郎作吉次作職相博状	その他	529,-58	
慶長 5.4.24	石田隠岐入道制札	板札	641,-1	石田隠岐入道の焼印有
慶長 5.4.24	石田正継折紙案并黒印状(折紙)	その他	530,-56	
慶長 5.4.24	石田正継折紙案并黒印状案(折紙)	その他	531,-60	

年月日	文書名	種類	番号	備考
慶長 5. 5. 8	観音寺年行事申状	その他	532,-61	袖・紙継目・日下の4ヶ所に石田正継の黒印有
慶長 5. 5. 9	観音寺年行事申状	その他	533,-62	袖・紙継目・日下の4ヶ所に石田正継の黒印有
慶長 5. 5. 15	観音寺年行事他四名連署門外置目	その他	534,-63	
慶長 7. 3. 5	青山半兵衛諸役免許状	その他	535,-64	
慶長 7. 8. 16	江州坂田郡観音寺村御検地帳	冊1	土地-1	記録17
(慶長7) 9. 2	(観音寺村検地帳)	冊1	土地-5	記録18
慶長 7. 9. 2	江州坂田郡観音寺村御検地帳	冊1	土地-2	記録19
(慶長7) 9. 2	江州坂田北郡観音寺村御検地帳認書	冊1	土地-4	
慶長 7. 9. 一	御検地帳之写	冊1	土地-3	
?	3. 16 左近太郎田地売券	仮未	614,-34	
?	8. 11 衆徒集会事書案	仮未	615,-35	
?	8. 30 喜久田直久書状	仮未	616,-36	
?	11. 10 某書状	仮未	618,-38	捻封
?	11. 25 玄妙院某書状	仮未	588,-8	結封・観音寺惣中宛
?	11. 26 伊吹氏家書状	仮未	619,-39	
?	12. 15 下村兼秀書状	仮未	620,-40	捻封
?	一. 一 観音寺経田加減注文(断簡)	仮未	626,-46	
?	一. 一 観音寺経田減米注文(断簡)	仮未	595,-15	
?	一. 一 観音寺経田減米注文(断簡)	仮未	622,-42	
?	一. 一 観音寺経田分米注文(断簡)	仮未	594,-14	
?	一. 一 観音寺経田分米注文(断簡)	仮未	629,-49	
?	一. 一 観音寺寺領田数注文(断簡)	仮未	591,-11	
?	一. 一 観音寺寺領田数注文(断簡)	仮未	623,-43	
?	一. 一 観音寺諸坊田数注文(断簡)(折紙)	仮未	592,-12	
?	一. 一 観音寺仏田注文(断簡)(折紙)	仮未	76,-027	
?	一. 一 高慶書状封紙	仮未	604,-24	
?	一. 一 時代きれ	仮未	600,-20	
?	一. 一 小田郷・村居田郷百姓連署状(断簡)	仮未	590,-10	
?	一. 一 遷宮覚書	仮未	627,-47	
?	一. 一 封紙	仮未	605,-25	
?	一. 一 包紙	仮未	606,-26	
?	一. 一 某書状(断簡)	仮未	628,-48	
?	一. 一 六反田地坪付	仮未	625,-45	
(慶長9) 3. 15	久保嶋昌忠諸役免許状	その他	536,-65	
元和 2. 1. 一	田島當帳	冊1	土地-6	
元和 5. 3. 23	秋山忠兵衛・内山十郎左エ門連署禁制	板札	642,-2	両人は彦根藩奉行
元和 5. 3. 23	彦根藩奉行制札写	板札	643,-3	板札-3と同文
元和 9. 11. 27	観音寺亥年納帳	横1	年貢-1	
寛永 2. 10. 一	観音寺亥之御物成納帳	横1	年貢-2	
寛永 3. 12. 10	観音寺寅御物成納帳	横1	年貢-3	

年月日	文書名	種類	番号	備考
寛永 4.12.3	亥之御年貢免割半米帳	横 1	年貢-4	
寛永 5.11.23	観音寺辰之御物成納帳	横 1	年貢-5	
寛永 8.11.18	観音寺諸坊高目録次第控	卷	471, 7-6	
寛永 9.11.19	観音寺中御物成納帳	横 1	年貢-6	
寛永 12.11.28	観音寺亥之御物成俵并数帳	横 1	年貢-7	
寛永 13.11.一	亥年御物成観音寺納帳	横 1	年貢-8	
寛永 16.12.一	卯年御物成観音寺納帳	横 1	年貢-9	
寛永 17.12.一	辰之年御物成観音寺納帳	横 1	年貢-10	
寛永 18. 2. 一	彦根町中鐘鑄勸進	冊 1	寺-1	
寛永 18. 3. 吉	長浜之鐘鑄勸進帳	冊 1	寺-2	
寛永 18. 4. 一	鐘鑄奉加帳	冊 1	寺-3	
慶安 1.11.15	子之年御物成升詰帳	横 1	年貢-11	
慶安 1.12.18	子之年小払帳	横 1	年貢-12	
慶安 2.12.一	丑之年御物成免割帳・田畑仕分免割帳	横 2	年貢-13	慶安 3年11月も含む
慶安 3.11.一	寅之御年貢升詰納帳	横 1	年貢-14	
慶安 4. 8. 一	寅之年御物成御勘定帳	冊 1	年貢-15	
慶安 4.11.21	卯之御物成升詰帳	横 1	年貢-16	
慶安 5.12. 3	慶安五年田畠免割帳	横 1	年貢-17	
承応 1.12.一	辰之御物成納庭帳	横 1	年貢-18	
寛文 1.⑨.18	巨細帳先観旨写之	冊 1	寺-4	
寛文 3.12. 2	卯ノ年御物成免割帳	冊 1	年貢-19	
寛文 7.11. 2	式部卿田地売券并請人手形	仮未	586, -6	2通2枚
寛文 11.12.18	萬出銭引替物堅極帳写	冊 1	年貢-20	
延宝 7. 7.19	御檢地帳写(上夫馬村)	冊 1	土地-7	
延宝 8. 6. 一	小作宛米帳(上夫馬村領田地宛米帳)	横 1	土地-8	
貞享 2.12.18	田高帳	横 1	土地-9	
元禄 3.12.18	元禄三年免割帳(庄屋給)	横 1	年貢-21	
元禄 3.12.18	高目録帳(慶長檢地)	冊 2	土地-10	
元禄 4. 9. 一	切支丹制札	板札	644, -4	
宝永 4. 9. 一	御水帳奥ノ之写	横 1	土地-11	
宝永 5. 2. 3	富士山打銀	横 1	寺-5	
宝永 5. 9. 一	御本尊小作納方請払帳	横 1	土地-12	
宝永 6. 1. 吉	惣中請払帳	横 1	寺-6	
宝永 6.12.12	丑之御年貢免割半米帳	横 1	年貢-22	
宝永 7. 6.13	寅之畑銀打帳	横 1	年貢-23	
正徳 2.11.一	辰御年貢小手形入半米納帳	横 1	年貢-24	
享保 1.10.一	御年貢小手形入并半米納帳	横 1	年貢-25	
享保 1.12.一	本堂再興素願状	冊 1	寺-7	
享保 5. 2. 一	像復供養疏	冊 2	寺-8	
享保 5. 一. 一	万燈供養疏	冊 1	寺-9	
享保 6.11.一	御年貢俵数半米請渡シ帳	横 1	年貢-26	
享保 8. 一. 一	溜池普請日記(観音寺溜池御普請)	横 2	土地-13	
享保 15. 6.18	御白洲掃除場之定	横 1	寺-10	

年月日	文書名	種類	番号	備考
享保 15.12.18	御本尊取納請払勘定帳	横 1	年貢-27	
享保 20. 8. 1	卯之惣藏納払勘定帳	横 1	年貢-28	
元文 1. 1. -	念仏講祠堂帳	横 1	寺-11	
元文 2.12.18	惣藏辰納請払勘定	横 1	年貢-29	
寛保 2. 1. -	鎮守社再建奉加帳	冊 1	寺-12	
寛保 2.11.-	彦根藩米札触書写	冊 1	触書-1	
延享 2.10.-	被仰渡条々(諸法会末寺出勤割当等)	横 1	触書-2	
延享 2.11.-	本末御改帳写	冊 2	寺-13	
寛延 2. 7. -	朝鮮人・琉球人触書	冊 1	触書-3	
寛延 2.-.-	朝鮮人・琉球人来朝書附	綴 1	寺-14	
寛延 4. 3. 6	浄土曼陀羅略縁起	冊 1	寺-15	
宝暦 2. 7. 18	差定(住持灌頂執行等)	横 1	触書-4	
宝暦 4.11.-	免割帳	横 2	年貢-30	宝暦6年11月も含む
宝暦 10. 3. -	切死丹御改=付指上申家並帳	横 1	家並-1	
宝暦 12. 3. -	切支丹御改=付差上申家並手形之事	横 1	家並-2	
宝暦 12. 6. 18	惣藏勘定帳	横 1	年貢-31	
宝暦 12. 6. -	人別御改帳	横 1	宗門人別-1	
明和 1.11.吉	成菩提院御仕持皆諸跡	横 14	寺-16	寛政11年まで一括
宝暦 14.-.-	切支丹御改=付差上申家並手形之事	横 1	家並-3	
明和 4. 8. -	溜池御普請日記跡	冊 1	土地-14	
明和 5. 3. -	宗門御改帳之跡	冊 1	宗門人別-2	
明和 8. 3. -	家並帳	横 1	家並-4	
安永 3. 6. -	人別御改帳跡	冊 1	宗門人別-3	
安永 5. 9. -	寺録御改帳	冊 2	寺-17	正と案の二冊
安永 5.12.18	衆儀式口励勉追善作福直糧帳	横 1	寺-18	
安永 6. 3. -	家並帳跡	横 1	家並-5	
安永 7. 3. -	家並帳跡	横 1	家並-6	
安永 10. 1. 18	観音講中	冊 1	寺-19	
安永 10. 3. -	家並帳	横 1	家並-7	天明2・8年代用
天明 3. 3. -	家並帳	横 1	家並-8	天明4年代用
天明 4. 3. -	宗門御改帳	冊 1	宗門人別-4	
天明 5.12.18	念仏講祠堂錢米留帳	横 1	寺-20	
天明 5.12.-	免割帳	横 1	年貢-32	
寛政 1. 1. -	家並帳	横 1	家並-9	
寛政 2. 3. -	家並帳	横 1	家並-10	寛政3年も代用
寛政 2. 3. -	宗門御改帳	冊 1	宗門人別-5	
寛政 2. 4. -	宗門御改帳跡	冊 1	宗門人別-6	
寛政 3. 3. -	宗門御改帳	冊 1	宗門人別-7	
寛政 3.11.-	亥之免割端米指引帳, 畑方免割下帳	横 2	年貢-34	
寛政 3.11.-	亥之免割并端米指引覚	横 1	年貢-33	
寛政 4. 2. -	家並帳	横 1	家並-11	寛政5年代用
寛政 4. 6. 18	惣藏勘定帳	横 1	年貢-35	
寛政 4. 7. -	宗門御改帳跡	冊 1	宗門人別-8	

年月日	文書名	種類	番号	備考
寛政 5. 2. 一	家並帳	横 1	家並-12	
寛政 5. 6. 18	御白洲掃除場之定	横 1	寺-21	
寛政 5. 一. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-9	
寛政 7. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-10	
寛政 8. 3. 一	家並帳	横 1	家並-13	
寛政 9. 3. 一	家並帳	横 1	家並-14	
寛政 9. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-11	
寛政 10. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-12	
寛政 10. 3. 一	切支丹御改=付指上申家並手形之事	横 1	家並-15	
寛政 10. 5. 5	御本寺用留帳	冊 1	寺-22	
寛政 10. 6. 一	宗門御改帳	冊 1	宗門人別-13	
寛政 10. 11. 一	公儀御触書之写(指上申宿手形・元和五年触有)	横 2	触書-6	
寛政 10. 12. 一	公儀・本山御触書留記	横 1	触書-7	
寛政 11. 6. 7	御書并御法度写・御家老申御口達・町方筋へ御口達之覚書	冊 1	触書-5	
寛政 13. 2. 21	家並帳	横 1	家並-16	享和2年代用
寛政 13. 2. 一	公儀御触書写(寺院風俗取締)	横 1	触書-8	
寛政 13. 2. 一	宗門御改之跡	冊 1	宗門人別-14	
享和 2. 3. 一	宗門下帳	冊 1	宗門人別-15	
享和 3. 2. 一	家並下帳	横 1	家並-17	
文化 1. 2. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-16	
文化 1. 3. 一	家並帳跡	横 1	家並-18	文化2・3年代用
文化 1. 5. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-17	
文化 2. 3. 一	宗門御改帳跡	冊 1	宗門人別-18	
文化 3. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-19	
文化 3. 3. 一	宗門御改家並跡手形之事	横 1	家並-19	
文化 4. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-20	
文化 5. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-21	
文化 5. 3. 一	宗門御改家並跡手形之事	横 1	家並-20	
文化 5. 8. 27	溜池御普請日記跡帳	冊 1	土地-15	
文化 6. 2. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-22	
文化 7. 2. 一	宗門御改家並跡手形之事	横 1	家並-21	
文化 7. 7. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-23	
文化 8. 3. 一	宗門役改帳	冊 1	宗門人別-24	
文化 9. 3. 一	宗門役改帳	冊 1	宗門人別-25	
文化 10. 2. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-22	
文化 10. 6. 3	渴水に付野一色村故障筋出来候=付彦根役所へ出願致し和談書	冊 1	土地-16	
文化 10. 8. 9	醒井宿御目見覚	冊 1	寺-23	
文化 10. ⑩. 16	新井氏頼母子割合帳	横 1	寺-24	
文化 11. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-23	
文化 11. 6. 18	旱魃願書之写	冊 1	土地-17	
文化 12. 12. 21	西郷家・福昌院年賦請取帳	冊 1	寺-25	
文化 13. 3. 一	作高人別帳	横 1	土地-18	

年月日	文書名	種類	番号	備考
文化 13. 3. 一	朝鮮人来聘一件入用	横 1	寺-26	
文化 13. 4. 16	(朝鮮人来聘=付書状写綴)	綴 1	寺-27	
文化 13. 5. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-26	
文化 13. 6. 8	二条御役所出願=付入用留	横 1	寺-28	
(文化13) 9. 28	惣中諸用控	横 1	寺-29	
文化 14. 2. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-24	
文化 14. 9. 一	乍恐以書付奉申上候(砂留土橋等普請所書上)	冊 1	土地-19	
文化 15. 2. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-25	
文化 15. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-27	
文政 2. 2. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-26	
文政 3. 2. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-27	
文政 3. 10. 一	病氣=付道物一件并同人病死之事	冊 1	寺-30	
文政 4. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-28	
文政 5. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-29	
文政 5. 5. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-30	
(文政5) 12. 5	諸役御記録	冊 1	寺-31	延元2年からの観音寺伝来文書の写
文政 8. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-31	
文政 9. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-28	文政10年代用
文政 9. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-32	
文政 11. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-33	
文政 11. 12. 18	色衣積立金勘定帳	冊 1	寺-32	
文政 11. 一. 一	一切経金部勘化帳	冊 1	寺-33	
文政 12. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-34	
文政 13. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-29	
文政 13. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-35	
天保 2. 4. 一	稲干場一件日次記(二回の内一番)	冊 1	土地-20	
天保 2. 10. 一	訴状写	冊 1	寺-34	
天保 2. 11. 21	平蔵年貢不納一件書留帳	綴1・横1	年貢-36	天保3年5月6日も含む
天保 2. 12. 18	田方免割帳	冊 1	年貢-37	
天保 2. 12. 18	畑方免割下帳	冊 1	年貢-38	
(天保2) 12. 一	御本尊高之内下作門前平蔵納方年々抜書	横 1	年貢-39	
天保 3. 1. 23	門前一件入用帳	横 1	寺-35	
天保 3. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-36	
天保 3. 5. 一	御本尊田畑一件留記	冊 1	土地-21	
天保 4. 2. 28	萬壽講番組帳	冊 1	寺-36	
天保 4. 2. 吉	枕金貸附帳	冊 1	寺-37	
天保 4. 2. 吉	萬壽講勘定帳	冊 1	寺-38	
天保 4. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-30	
天保 4. 6. 一	公儀御触書写(琉球人人馬従方)	横 2	触書-9	
天保 4. 8. 一	萬壽講番組帳	冊 1	寺-39	
天保 4. 11. 一	御教願書跡	冊 1	寺-40	
天保 5. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-31	

年月日	文書名	種類	番号	備考
天保 5. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-37	
天保 5. 5. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-38	
天保 6. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-32	
天保 6. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-39	
天保 6. 11. 一	東門前養子一件	冊 1	寺-41	
天保 7. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-33	天保 8 年代用
天保 7. 11. 15	行倒者一件	冊 1	寺-42	
天保 9. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-34	
天保 10. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-35	
天保 10. 3. 一	人別御改下帳	冊 1	宗門人別-40	
天保 11. 3. 一	宗門御改帳下帳	冊 1	宗門人別-41	
天保 11. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-36	
天保 11. 5. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-42	
天保 12. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-43	
天保 12. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-37	
天保 12. 3. 一	溜池普請日記	1 括	土地-22	関係文書一括
天保 12. 4. 一	寝照山回章写(一宗本山取締)	横 1	触書-10	
天保 12. 6. 一	寺禄分限縁由書上帳	冊 1	寺-43	
天保 13. 2. 吉	第貳番萬壽講勘定帳	冊 1	寺-44	
天保 13. 3. 一	宗門御改帳下書	冊 1	宗門人別-44	
天保 13. 8. 一	彦根御制禁御触書之写(諸事改革箇条・農は国の基)	横 2	触書-11	
天保 13. 8. 吉	薬師堂再建諸請拂覚託	横 1	寺-45	
天保 14. 1. 18	公儀本山御触書并書上留蝶	横 1	触書-12	
天保 14. 3. 一	宗門御改帳下書	冊 1	宗門人別-45	
天保 14. 3. 一	宗門御改=付家並下帳	横 1	家並-38	
天保 14. 6. 一	御代官所より拝借金義倉方へ引譲留	冊 1	寺-46	
天保 14. 9. 12	無住書上帳	冊 1	寺-47	
天保 14. 11. 一	義倉金貸附勘定帳	冊 1	寺-48	
天保 15. 2. 一	無住書上帳下紙	冊 1	寺-49	
天保 15. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-46	
天保 15. 3. 一	宗門御改=付家並手形下帳	横 1	家並-39	
天保 15. 9. 9	公儀并彦根・東谷并本山御触書写帳	横 2	触書-13	
弘化 2. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-47	
弘化 2. 4. 5	諸堂社修復講枕金貸附帳	冊 1	寺-51	
弘化 2. 4. 5	諸堂社修復講勘定巨細帳	冊 1	寺-52	
弘化 2. 4. 5	諸堂社修復講番組帳	冊 1	寺-50	
弘化 3. 1. 一	公儀并彦根・東谷并本山御触書写帳	横 1	触書-14	
弘化 3. 2. 13	出雲并懸り寺川井骨石垣願留記	冊 1	土地-23	
弘化 3. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-48	
弘化 3. 5. 一	東門前養子之儀=付彦根御役所へ書上控	冊 1	寺-53	
弘化 3. 6. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-49	
弘化 3. 12. 18	口若垣林氏年賦金請取帳	冊 1	寺-54	

年月日	文書名	種類	番号	備考
弘化 4. 1. 一	公儀彦根御触書	横 1	触書-15	
弘化 4. 3. 初	懸金不参帳	横 1	寺-55	
弘化 4. 3. 一	仕法講勘定帳	冊 1	寺-56	
弘化 4. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-50	
弘化 4. 9. 10	当座書込帳	横 1	寺-57	
嘉永 2. 1. 一	彦根御触書写覚	横 1	触書-16	
嘉永 3. 1. 一	彦根御触書写覚	横 1	触書-17	
嘉永 3. 2. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-51	
嘉永 4. 1. 一	公儀・本山・束谷・彦根御触書之写	横 1	触書-18	
嘉永 4. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-52	
嘉永 5. 一. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-53	
嘉永 6. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-54	
嘉永 6. 3. 一	宗門御改=付家並手形下帳	横 1	家並-40	
嘉永 7. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-55	
嘉永 7. 3. 一	宗門御改=付家並手形下帳	横 1	家並-41	
嘉永 7. 7. 吉	本堂用職人日雇帳	横 1	寺-58	
嘉永 7. 8. 13	大守野廻り御小休跡下帳并御本尊御拝札巨細帳	冊 1	触書-19	
嘉永 7. 一. 一	田畑作高調帳	冊 6	土地-24	
安政 2. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-56	
安政 3. 3. 一	宗門御改=付家並手形下帳	横 1	家並-42	安政 4 年代用
安政 3. 8. 28	式拾会目勘定帳	綴 1	寺-59	
安政 3. 一. 一	仕法金利息請取帳	横 1	寺-61	
安政 3. 一. 一	梵鐘之儀=付書附	冊 1	寺-60	
安政 4. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-57	
安政 4. 3. 一	式冊目仕法講勘定帳	冊 1	寺-62	
安政 4. 9. 10	諸堂社修復講勘定巨細帳第二冊目	冊 1	寺-63	
安政 5. 6. 一	人別御改帳	冊 1	宗門人別-58	
安政 5. 11. 18	彦根御年貢正米出覚	横 1	年貢-40	
安政 6. 11. 21	彦根御歳貢正米計諸色留, 未ノ年御年貢出候数知	横 2	年貢-41	
(安政 6) 一. 一	式拾会目勘定目録	綴 1	寺-64	
万延 1. 1. 一	御本尊山林枯木壳上帳	横 1	土地-25	
安政 7. 一. 一	彦根大守様江戸一件并其外御触状留書	冊 1	触書-20	
万延 1. 春. 一	柔師尊延命講業記簿	冊 1	寺-65	
文久 1. 2. 吉	浄土曼陀羅縁起	冊 1	寺-66	
万延 2. 3. 一	家並下帳	横 1	家並-43	文久元年代用
万延 2. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-59	
文久 1. 12. 18	請払勘定帳	横 2	年貢-42	同年12月28日も含む
文久 2. 3. 一	修復講三結目番組帳	冊 1	寺-67	
文久 2. 11. 一	彦根御家中家前附	横 1	触書-21	
文久 2. 一. 一	修復講参結目勘定巨細帳	冊 1	寺-68	
文久 3. 2. 一	仕法帳	冊 2	寺-69	
文久 3. 2. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-60	

年月日	文書名	種類	番号	備考
文久 3. 3. 一	家並取調帳	横 1	家並-44	
文久 3. 7. 一	仕法帳	冊 1	寺-70	
文久 3. 秋. 一	番組帳	冊 1	寺-71	
文久 4. 1. 一	彦根御触書之写帳	横 1	触書-22	
文久 4. 2. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-61	
文久 4. 3. 一	家並取調帳	横 1	家並-45	
元治 1. 6. 一	宗門御改帳	冊 1	宗門人別-62	
元治 1. 9. 一	彦根御触書之写帳	横 1	触書-23	
元治 1. 11. 吉	御救願書跡	冊 1	寺-72	
元治 1. 12. 18	請払勘定帳・勘定役払帳	横 2	年貢-43	同年12月28日も含む
元治 1. 一. 一	子のとし畑方銀納帳	横 1	年貢-44	
元治 2. 3. 一	家並取調帳	横 1	家並-46	
元治 2. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-63	
元治 2. 4. 吉	本堂用諸職人控	横 1	寺-73	
慶応 1. 9. 6	五會目掛金請取帳	横 5	寺-74	
慶応 1. 12. 18	請払勘定帳・勘定請払帳	横 2	年貢-45	
慶応 2. 3. 一	家並取調帳	横 1	家並-47	
慶応 2. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-64	
慶応 2. 7. 一	とら畑銀納帳	横 1	年貢-46	
慶応 2. 12. 18	請払勘定帳・勘定後請払帳	横 2	年貢-47	
慶応 3. 11. 一	御仕法講	冊 1	寺-75	
慶応 4. 3. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-65	
慶応 4. 7. 18	畑方御年貢取立帳	横 1	年貢-48	
明治 1. 9. 一	当山祿改下帳	冊 1	寺-80	
明治 1. 10. 一	御本尊田畑并無住七ヶ院取納帳	横 4	年貢-50	明治4年11月まで含む
明治 1. 12. 18	出銭指引帳	横 1	寺-81	
明治 1. 12. 18	請払勘定帳・勘定後請払覚書	横 2	年貢-51	
明治 1. 一. 一	寺村目駒願書	冊 23	土地-26	
明治 2. 2. 一	近江国坂田郡観音寺村戸籍(雛形)	冊 1	宗門人別-67	
明治 2. 2. 一	寺籍法(彦根藩触書)	冊 1	宗門人別-68	
明治 2. 4. 一	(一宗取締外触書留)	綴 1	触書-27	
明治 2. 7. 一	安政六年未年々明治元年辰年迄拾ヶ年御免状残高取米書上帳	冊 2	年貢-52	
明治 2. 8. 一	寺籍法	冊 1	寺-82	彦根藩が出したものの写
明治 2. 8. 一	分限帳(控)	冊 1	寺-83	
明治 2. 12. 18	出銭指引帳	横 1	寺-84	
明治 2. 12. 18	請払勘定帳・勘定後請払覚書	横 2	年貢-53	
明治 2. 12. 一	御達書之写	横 1	触書-28	
明治 2. 一. 一	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-69	
明治 2. 一. 一	他所人來住奉公人雇人仕法	冊 1	寺-85	彦根藩が出したものの控
明治 3. 1. 一	御触書留帳	横 3	触書-29	

年月日	文書名	種類	番号	備考
明治 3. 8. —	宗門御改下帳	冊 1	宗門人別-70	
(明治 3) 10. —	(観音寺諸記録)	冊 1	寺-86	文政11年からの写
(明治 3) 12. 12	(寺領明細帳の雛形)	冊 1	寺-87	
明治 4. 1. —	彦根藩御触書控	横 1	触書-30	
明治 4. 5. 17	天台宗本末寺名帳(控)	冊 1	寺-88	
明治 4. 7. 25	午年畑方御年貢上納帳	横 1	年貢-54	
明治 4. 12. 18	出銭指引帳	横 1	寺-89	
(明治 4) —. —	(塔頭戸籍)	綴 2	宗門人別-71	
明治 5. 1. —	(新貨条例通達)	綴 1	触書-32	
明治 5. 1. —	(天台宗本山より通達写)	綴 1	触書-31	
明治 5. 3. —	犬上県庶務課通達及び諭告	綴 1	触書-33	
明治 5. 4. —	御触書之写(猟銃免許他)	冊 1	触書-34	
明治 5. 5. 7	式拾ヶ年御救米取調書	冊 1	寺-90	
明治 5. 9. 19	非川御普請之控	横 1	土地-27	
明治 5. 9. —	佛器什物取調帳下書	冊 1	寺-91	
明治 5. 10. —	地券取調ニ付入費控	横 1	土地-28	
明治 5. 11. —	御本尊并配下七ヶ院取納帳	横 1	年貢-55	
明治 5. 12. 18	出銭指引帳	横 1	寺-92	
明治 5. 12. 18	請拂勘定帳	横 1	寺-93	
明治 5. 12. 18	二冊目円住院跡年々勘定帳	横 1	寺-94	
明治 5. —. —	(送籍等雛形)	綴 1	触書-35	
明治 6. 1. 26	歳出請払掟帳	横 1	村その他-74	
明治 6. 2. 10	雇飾御願等預書	冊 1	寺-95	
明治 6. 5. 2	壬申貢米石代金取立帳	横 1	年貢-56	
明治 6. 5. —	印税上納之通	横 1・状 4	年貢-57	領収 4 通あり
明治 6. 7. 17	(土地台帳)	横 1	土地-31	
明治 6. 7. 19	退役御願書	冊 1	村その他-1	
明治 6. 7. 22	御田地種植付反別届	綴 1	土地-32	
明治 6. 7. —	地所下取調帳	冊 2	土地-33	
明治 6. 9. 2	退役御願書	冊 1	村その他-2	
明治 6. 9. 15	戸長人撰入札届	冊 1	村その他-3	
明治 6. 9. 15	坂田郡第五区観音寺村御検見下調ニ付御伺書	綴 1	年貢-58	
明治 6. 9. 28	測量日嘉恵	綴 1	土地-34	
明治 6. 9. —	山割帳	冊 1	土地-35	
明治 6. 9. —	村中支配耕地山林調帳	横 4	土地-36	
明治 6. 11. 12	御年貢割控帳	横 1	年貢-59	
明治 6. 11. —	村中支配取納帳	横 1	村その他-4	
明治 6. 12. 18	石役米割賦并取立帳	横 2	年貢-60	
明治 6. —. —	大観畑取調書・墓地取調書他	冊 21	土地-29	明治 9 年まで
(明治 6) —. —	酉ノ惣蔵貸附米御歳貢代金取立帳	横 1	年貢-61	
明治 6. —. —	内見帳	冊 1	土地-37	
明治 6. —. —	養悪水道路取調書	冊 13	土地-30	明治 8 年まで
明治 7. 1. 24	生年月日取調書	冊 1	村その他-5	

年月日	文書名	種類	番号	備考
明治 7. 1. 29	布令書第三八号	綴 5	触書-36	
明治 7. 4. 10	上知御払下御願書	綴 1	土地-38	
明治 7. 4. 12	只今住居家ヲ本籍ニ御願上	冊 2	寺-96	
明治 7. 5. 12	明治六年貢取立勘定帳	横 1	年貢-62	
明治 7. 8. 3	観音寺境外木敷取調書上帳	綴 1	土地-39	
明治 7. 8. 8	病氣ニ付御改書上帳	冊 1	村その他-6	
明治 7. 8. 30	堤外有無御届書	冊 1	村その他-7	
明治 7. 9. 14	出頭御届書上帳(控)	冊 1	村その他-8	
明治 7. 9. 一	重贖備置帳	冊 1	村その他-9	
明治 7. 10. 5	区戸長給料御取宛儀ニ付委任書	冊 1	村その他-10	
明治 7. 10. 23	貢米皆令納御願書	綴 1	年貢-63	
明治 7. 11. 18	坂田郡第五区観音寺村皆金納再御願書	綴 1	年貢-64	
明治 7. 11. 29	正副戸長給料御窺書	冊 1	村その他-11	
(明治 7) 12. 7	明治七年御歳貢割控簿	横 1	年貢-65	
明治 7. 12. 18	歳出諸払勘定帳	横 1	村その他-75	
明治 7. 12. 18	石役米割賦并取立帳	横 1	年貢-66	
明治 7. 12. 一	明治六年観音寺村諸入費取調帳	冊 1	土地-40	
明治 7. 一. 一	明治七年晚稲内見帳	冊 2	村その他-12	
明治 8. 1. 1	歳内請払勘定帳	横 1	村その他-13	
明治 8. 1. 10	村中持山林小割御願書	綴 1	土地-41	
明治 8. 1. 10	地位等級表	冊 1	土地-55	
明治 8. 2. 28	旅費御伺書	冊 1	村その他-14	
明治 8. 3. 10	正副戸長旅費御窺書	冊 1	村その他-15	
明治 8. 4. 10	地所替地御願	綴 1	土地-42	
明治 8. 4. 22	印替御届書	冊 1	村その他-16	
明治 8. 4. 27	宗務庁会計課請取(積立講)	冊 1	土地-43	
明治 8. 4. 一	(地券改正関係)	綴 9	土地-44	
明治 8. 4. 一	退役御願書	冊 1	村その他-17	
明治 8. 5. 17	改正地価之儀ニ付歎願書	綴 1	土地-45	
明治 8. 6. 20	合村之儀ニ付御願書	冊 1	村その他-18	
明治 8. 6. 20	明治七歳貢米勘定帳	横 1	年貢-67	
明治 8. 6. 24	退役御願書	冊 1	村その他-19	
明治 8. 6. 一	観音寺村諸入費取調帳	冊 1	村その他-20	
明治 8. 7. 2	明治七年観音寺村村諸入費取調帳	冊 1	村その他-21	
明治 8. 8. 24	役場請払勘定帳	横 1	村その他-22	
明治 8. 8. 一	(社寺統合ニ付通達)	綴 1	触書-37	
明治 8. 8. 一	小学校設立法方書	冊 1	村その他-23	
明治 8. 9. 3	御願書(地租改正取調書提出延期願)	冊 1	土地-46	
明治 8. 9. 6	御願書(地租改正取調書提出延期願)	冊 2	土地-47	
明治 8. 9. 7	御願書(地租改正取調書提出延期願)	冊 1	土地-48	
明治 8. 9. 20	(地租御改正ニ付地所御取調の予告の写)	綴 1	年貢-68	
明治 8. 9. 23	御願書(地租改正取調書提出延期願)	冊 1	土地-49	
明治 8. 9. 30	御願書(敵杭順番不都合ニ付)	冊 1	土地-50	

年月日	文書名	種類	番号	備考
明治 8. 9. 一	御本庁江地券証御書換願申上候に付成善提院江為歳確証指入届書	綴 1	土地-52	
明治 8. 9. 一	地位等級表	冊 1	土地-51	
明治 8. 9. 一	地券改正入費調	横 5	土地-53	
明治 8. 9. 一	地租改正ニ付小作人名記	横 1	年貢-69	
明治 8. 10. 8	地位等級表	綴 1	土地-54	
明治 8. 10. 一	前願書并御指令写	冊 1	村その他-24	
明治 8. 11. 8	御請并歎願書上帳(畑地価変更)	綴 4	土地-56	
明治 8. 11. 17	丈量再検御願書	綴 4	土地-57	
明治 8. 11. 一	御届書(寺籍明細帳より取除く三院のこと)	綴 1	年貢-70	
(明治 8) 11. 一	明治八年地税割帳	横 1	年貢-71	
明治 8. 12. 8	官地伺書(上知後落札地)	綴 1	土地-58	
明治 8. 12. 25	勘定後役場請払帳	横 1	村その他-25	
明治 9. 1. 7	戸長投票開票記簿	横 1	村その他-26	
明治 9. 1. 8	投票上申書	冊 1	村その他-27	
明治 9. 1. 17	役場請払勘定帳	横 1	村その他-28	
明治 9. 1. 20	退役御願書(副戸長退役ノ願)	冊 1	村その他-29	
明治 9. 1. 24	明励校開校式ニ付諸費記	横 1	村その他-30	
明治 9. 1. 一	観音寺村一月・二月・三月・四月・五月・六月入費	冊 6	村その他-34	
明治 9. 1. 一	副区長投票開票記簿	横 1	村その他-32	
明治 9. 1. 一	物産表(米雑穀園蔬などの書上げ)	冊 1	村その他-33	
明治 9. 1. 一	明治八年民費調書写	冊 1	村その他-31	
明治 9. 3. 5	杉並柴山売払帳(村中立会)	横 1	土地-59	
明治 9. 3. 28	畑地御下渡ニ付地券状御下渡願	冊 1	土地-60	
明治 9. 3. 一	投票上申書	冊 1	村その他-35	
明治 9. 4. 6	萱地反割之控	横 1	土地-61	
明治 9. 5. 14	明励学校教員雇入御届書	冊 1	村その他-36	
明治 9. 5. 29	明治八年観音寺村諸入費取調帳	冊 1	村その他-37	
明治 9. 5. 一	(大法会執行ニ付通達)	綴 1	触書-38	
明治 9. 7. 10	投票上申書	冊 1	村その他-38	
明治 9. 7. 一	明治九年七月諸入費調書	冊 1	村その他-39	
明治 9. 8. 26	生徒有無取調御届書	冊 1	宗門人別-72	
明治 9. 8. 一	開帳中出納簿(開帳関係横帳他四点)	横 5	寺-98	
明治 9. 8. 一	観音堂寄進帳	冊 1	寺-97	
明治 9. 9. 1	本堂修復篤志記簿	横 1	寺-99	
明治 9. 9. 5	明治九年地税金子前取立記	横 3	年貢-72	
明治 9. 9. 一	国民軍出入死没者御届書	冊 1	宗門人別-73	
明治 9. 10. 8	万延元申年誕生之男児有無取調草書	冊 1	宗門人別-74	
明治 9. 10. 11	官地御払下歟下年限取調書上帳	綴 1	土地-62	
明治 9. 10. 11	地所買請御取計候願書	綴 1	土地-63	
明治 9. 10. 20	田方検見御断書上帳	綴 1	年貢-73	
明治 9. 10. 21	寺院廃寺之儀ニ付上申書	冊 4	寺-100	

年月日	文書名	種類	番号	備考
明治 9.10.30	明治九年十一月分諸費調書(正・写)	冊2	村その他-42	
明治 9.10.30	明治九年十月分入費調書	冊1	村その他-40	
明治 9.10.—	明治九年八月分入費取調書(正・写)	冊2	村その他-41	
明治 9.12.28	勘定後役場出納帳	横1	村その他-43	
明治 9.12.31	明治九年十二月分諸費	冊1	村その他-47	
明治 9.12.31	明治九年請半季分諸費取調草書	冊1	村その他-44	
明治 9.12.—	戸長役場出納帳	横1	村その他-45	
明治 9.12.—	止宿人取調帳	横1	村その他-46	
明治 9.12.—	明治九年観音寺村現戸現員取調書	冊1	宗門人別-75	
明治 9.—	明治九年観音寺村禄米納帳	冊1	年貢-74	
明治 9.—	明治九年毛見坪刈各名取極事	綴1	年貢-75	
明治 9.—	旱魃=付御届書	綴1	土地-64	
明治 10.1.1	役場受払勘定帳	横1	村その他-48	
明治 10.1.—	明治十年一月分村入費取調書	綴1	村その他-50	
明治 10.1.—	役場諸入費勘定帳	横1	村その他-49	
明治 10.2.15	川木柴売上簿	横1	村その他-51	
明治 10.2.—	合村御願書	綴1	村その他-52	
明治 10.3.5	明治十年二月分入費	冊1	村その他-53	
明治 10.3.8	坂田郡観音寺村所有地=付添書	冊1	土地-65	
明治 10.3.9	柴山売揚帳(村中立会)	横1	土地-66	
明治 10.3.23	観音寺目的上申書(徳米二俵存続方)	冊1	土地-67	
明治 10.3.—	地券状写書上帳	冊1	土地-68	
明治 10.4.6	山地券証=付御願書	冊1	土地-70	
明治 10.4.6	売買=付更正野帳名前取換願書	冊26	土地-69	
明治 10.4.13	合校之儀=付上申書(六ヶ村の学校合併)	綴2	村その他-54	
明治 10.4.—	明治十年三月分入費	綴1	村その他-55	
明治 10.5.8	地券証御書換御願	冊2・綴1	土地-71	
明治 10.6.18	明治十年四月中区入費取調書	冊1	村その他-56	
明治 10.6.24	水番并川かり人足控	横1	村その他-57	
明治 10.6.—	明治十年四月中区入費書上写	綴1	村その他-58	
明治 10.7.—	明治十年五月中区入費取調書	綴1	村その他-59	
明治 10.7.—	明治十年五月中区入費取調書	綴1	村その他-60	
明治 10.8.—	(明治十年区入費関係一括)	綴9	村その他-62	
明治 10.8.—	合寺院跡地取調書	綴1	土地-72	
明治 10.9.25	売地質戸長奥印之控(石田村・鳥脇村)	冊2	土地-73	
明治 10.9.—	地日変換取調御届書	冊2	土地-74	
明治 10.11.19	地券還納調書	冊5	土地-75	
明治 10.12.1	券証持主村名違=付奉願上候	綴1	土地-77	
明治 10.12.1	地主名前取換願書	冊1	土地-76	
明治 10.12.—	坂田郡第五区内入籍死亡人等取調書	冊1	宗門人別-76	
明治 10.—	(山田八十郎徴兵適令に付届書)	冊1	宗門人別-79	
明治 10.—	国民軍出入死没者有無取調上申書	冊1	宗門人別-78	
明治 10.—	巡查吏御進廻名簿録	冊1	村その他-63	

年月日	文書名	種類	番号	備考
明治 10. 1. 1	満六歳以上の者書上	冊 1	宗門人別-77	
明治 11. 8. 1	所角力御届写	冊 1	村その他-64	
明治 11. 10. 1	(明治十一年区入費書類一括)	綴 3	村その他-66	
明治 11. 10. 1	役場所入費勘定帳	横 1	村その他-65	
明治 11. 11. 1	(上夫馬・観音寺村合併書類)	綴 2	村その他-67	
明治 11. 12. 1	戸籍人別増減取調書	冊 1	宗門人別-80	
明治 11. 12. 1	戸籍人別増減取調書(職人人員取調書)	冊 1	宗門人別-81	
明治 11. 12. 1	雑穀作柄及収穫見積高取調写	綴 1	村その他-68	
明治 11. 12. 1	得等無等取調	綴 3	村その他-70	
明治 11. 12. 1	被撰人名簿	綴 1	村その他-69	
明治 12. 2. 1	観音寺村普通物産表	綴 1	村その他-71	
明治 12. 6. 1	国民軍人名簿	冊 1	宗門人別-83	
明治 12. 6. 1	満廿五年以下現在人員取調書	冊 1	宗門人別-82	
申酉 1. 1	申酉年御代官所ノ拝借金并元利納控	横 1	寺-76	
? 10. 5	某書状	仮未	617, -37	近世カ
? 1. 1	嘉見院祐所書状等	横 2	寺-77	
? 1. 1	明屋業師勘金	横 1	寺-78	
? 1. 1	番附下帳	冊 1	寺-79	
? 1. 1	本末一派寺院明細帳(雑形)	冊 1	寺-101	
? 1. 1	官地御払下願書	冊 1	土地-78	
? 1. 1	(地価金書上)	冊 1	土地-79	
? 1. 1	地価賦課分	横 1	土地-80	
? 1. 1	(宅地等級面積書上)	横 1	土地-81	
? 1. 1	(官地・除地書上)	横 1	土地-82	
? 1. 1	野帳	冊 3	土地-83	
? 1. 1	郷中御内検下見帳	横 1	年貢-49	
? 1. 1	明治七年区入費御届写	綴 1	村その他-61	
? 1. 1	(五歳以下種痘実施指出)	綴 1	村その他-73	
? 1. 1	社倉積立方法取窮条件	綴 1	村その他-72	
? 1. 1	人別御改帳	冊 1	宗門人別-66	
? 1. 1	合村願ニ付戸数人員男女内訳上申書	冊 1	宗門人別-84	
? 1. 1	彦根御触書之写帳	横 1	触書-24	
? 1. 1	公儀御触書写	横 1	触書-25	
? 1. 1	東叡山ノ御奉書之写	横 1	触書-26	
? 1. 1	包紙	仮未	598, -18	近世カ
? 1. 1	包紙	仮未	599, -19	山之事・近世カ

## A Comprehensive Study of *Ohmi-Ohara Kannonji Document*

Eijiro Fukuda

This is an interim report concerning a comprehensive study of *Ohmi-Ohara Kannonji Document*. The Kannonji temple, which owns the document under consideration, was originally named Ibukiyama Kannon Gokokuji (Kannon Guardian Temple of the State in Mt. Ibuki) and has been commonly called Ohara Kannonji. The temple is situated at 1342 Asahi, Santo-cho of Sakata County in Shiga Prefecture. It used to be in the mountaineous district of Ibuki and regarded as one of Yonkedera, Four Temples, in Mt. Ibuki together with Sankedera consisted of the three temples of Yataka, Taihei, and Nagao. After moving out into the present place in the mid-thirteenth century (in the mid of the Kamakura period), the temple developed into a solemn Buddhist temple in possession of twenty-three monk's quarters. According to records registered between the ninth and tenth centuries, the site of the temple was in public land called Ohara-no-go (the district of Ohara). The place was eventually transformed into a manor named Ohara-shō on the basis of materials from the latter half of the twelfth century.

About the time when the Kannonji moved out into the Ohara district, Shigemitsu Sasaki, the eldest son of Nobutsuna Sasaki who was governor of Ohmi Province, was appointed lord of Ohara manor. Nobusane constructed a manor house in this area and began to bear the name of the Ohara family. Since then he and his descendants remained under the patronage of the Ohara family throughout the medieval period. In the age of civil wars, the temple estate was guaranteed by the Asai family, who had escaped from the patronage of the kyogokū family, Sasaki's branch family, and had put the Kohoku region under control. And then, Hideyoshi Kinoshita and his collaborators who had subjugated Nagahama secured property of the temple. Exempted from various feudal duties imposed upon in the Edo period, the temple became influential in the area.

The Kannonji with such a historic background possesses distinguished treasures and highly prized articles. The Wooden Sedentary Statue of Dengyo Daishi is registered as the nation's important cultural property and the main building of the temple is designated as the prefecture's important cultural property. The Kannonji document under consideration is also registered as the prefecture's important cultural property. The whole document is composed of a cluster of precious manuscripts which contained some three-thousand items put on record between the latter half of the twelfth and the latter part of the nineteenth centuries. The record from the latter half of the medieval period to the beginning of the early modern era attracts researchers most of all because of its high consistency and impressive substance. The School Board of Shiga Prefecture published in 1975 a medieval

part of the document under the title of *Ohara Kannoji Document*. However, a part of the document relating to the early modern era remains unexamined despite the fact that it is owned in greater quantity. Under these circumstances, we have decided to arrange, research, and examine this cluster of manuscripts throughout the medieval and early modern periods as *Ohmi-Ohara Kannonji Document*. We started our project by making a general catalogue from the document and finished our research as far as the manuscripts in bound form are concerned. We will hereafter make public the catalogue edited in chronological order. Thirteen researchers and graduate students, including Mr. Akitoshi Kanzaki of the Criminal Museum at Meiji University, participated in the research of the document.